

令和7年度
堺市市民意識調査
報告書

堺 市

目 次

I	調査の概要.....	1
1	調査の目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査期間.....	1
4	調査方法.....	1
5	回収状況.....	1
6	調査結果の表示方法.....	1
II	調査結果.....	2
	あなたご自身のことについて.....	2
A	堺市について.....	9
B	安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）..	12
C	都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）.....	34
D	転入、転出について.....	62
III	調査票.....	68

I 調査の概要

1 調査の目的

市民のみなさまの日常生活における意識や行動に関するお考えをお聞かせいただき、今後の市政運営に活かすことを目的とします。

2 調査対象

無作為抽出した堺市在住の18歳以上の市民5,000人

3 調査期間

令和8年1月20日から令和8年2月3日

4 調査方法

郵送またはインターネットによる配布・回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
5,000通	2,568通 (うちWEB回答955通)	51.4%

6 調査結果の表示方法

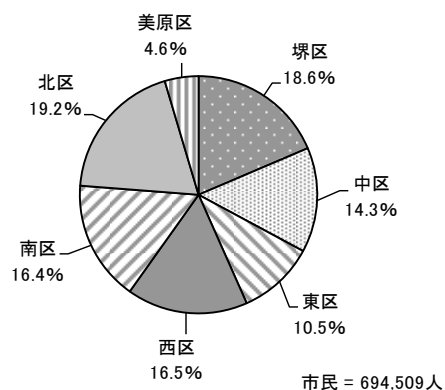
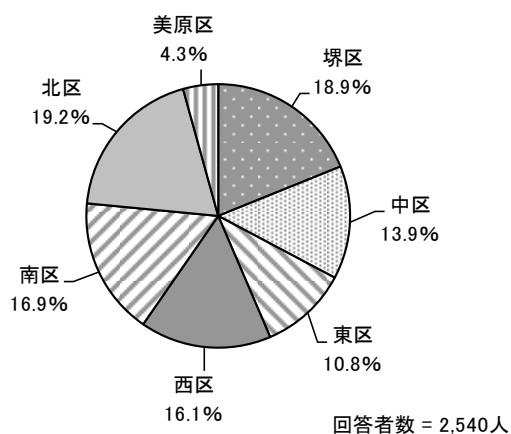
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、全体より10ポイント以上高いものを■、全体より5ポイント以上高いものを■で網かけをしています。ただし、属性別の回答者数が30未満の場合は網かけをしていません。
- ・表中の「-」については、0.0%を意味しています。

II 調査結果

あなたご自身のことについて

問1 お住まいの区（ひとつだけに○）

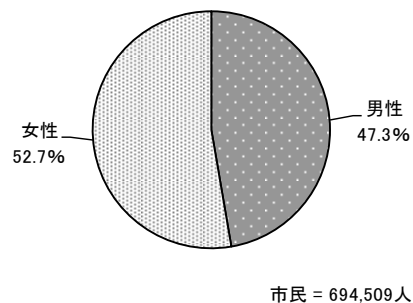
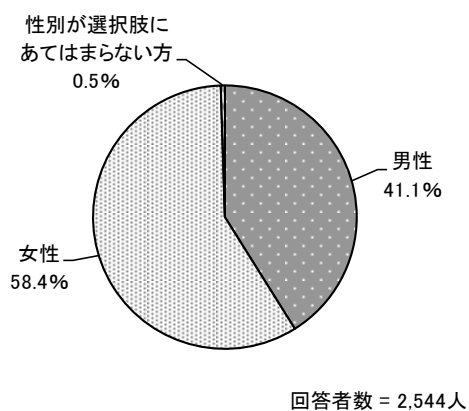
回答者の住んでいる区については、「北区」の割合が19.2%と最も高く、次いで「堺区」の割合が18.9%、「南区」の割合が16.9%となっています。



【参考】令和7年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

問2 性別（ひとつだけに○）

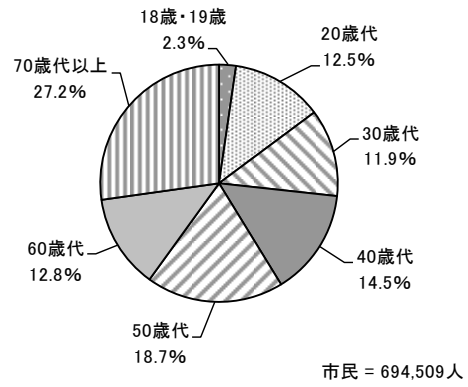
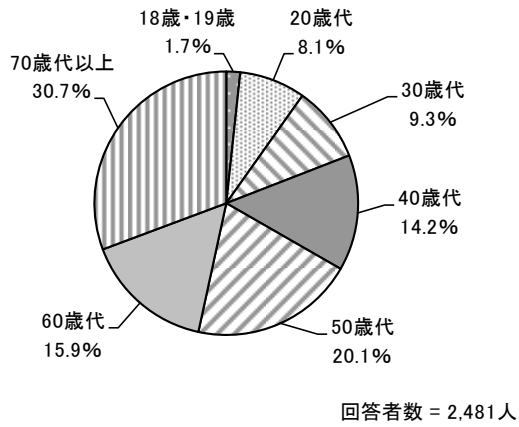
回答者の性別については、「女性」の割合が58.4%、「男性」の割合が41.1%となっています。



【参考】令和7年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

問3 年齢（数字をご記入ください）

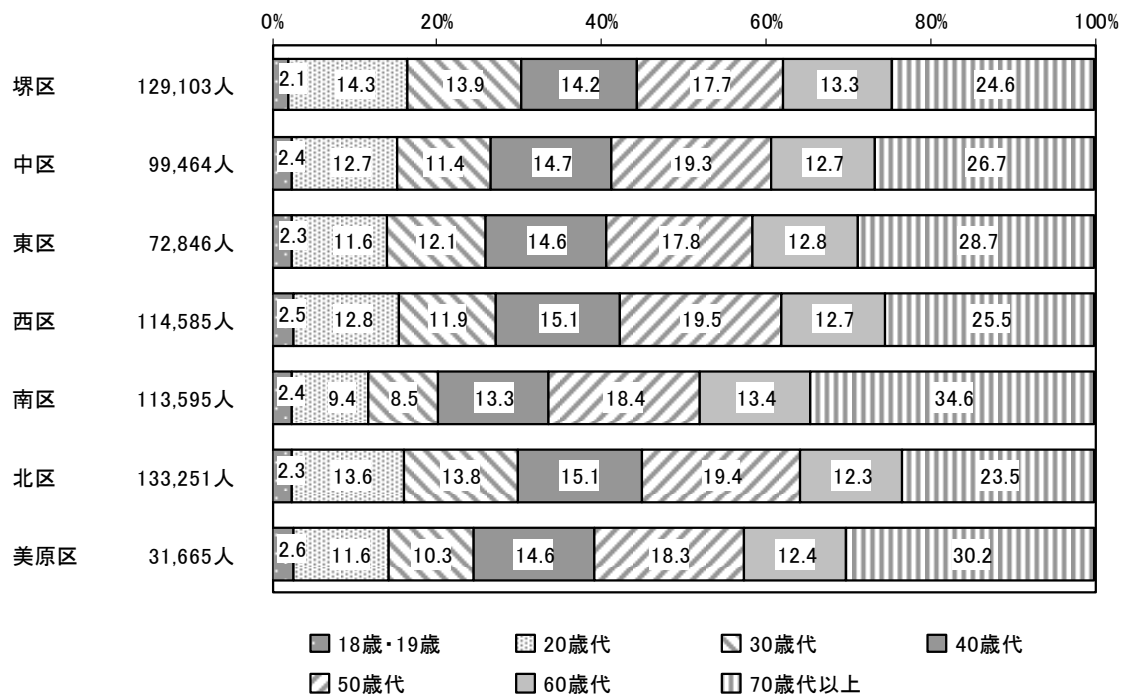
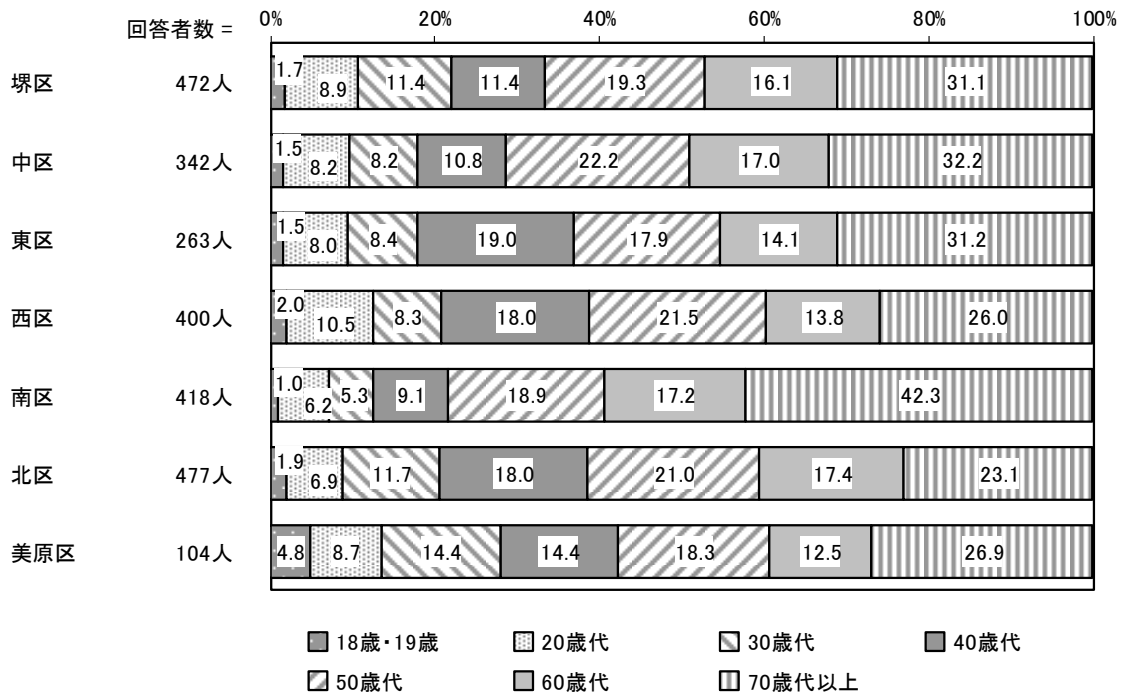
回答者の年齢については、「70歳代以上」の割合が30.7%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が20.1%、「60歳代」の割合が15.9%となっています。



【参考】令和7年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口
(日本人、外国人住民ともに含む)

【居住区別】

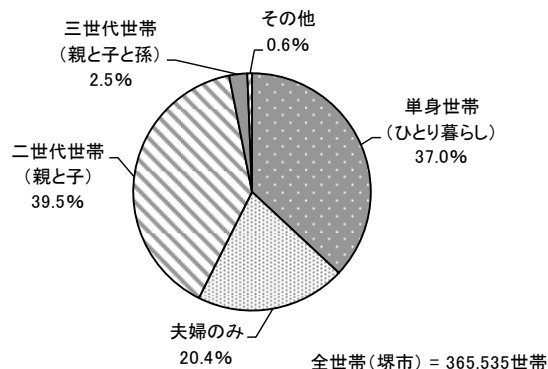
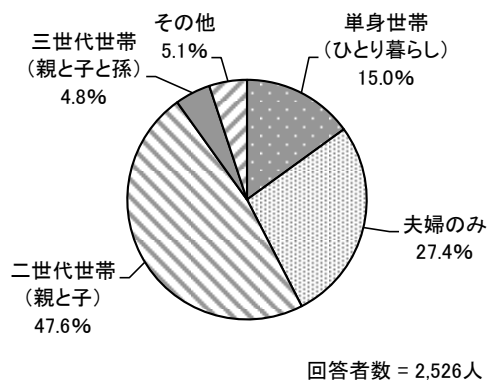
居住区別でみると、南区で「70歳代以上」の割合が4割強と高くなっています。一方、美原区では「30歳代」以下の割合が高くなっています。



【参考】 令和7年12月末時点の18歳以上
住民基本台帳人口（日本人、外国人住民ともに含む）

問4 同居している世帯の構成（ひとつだけに○）

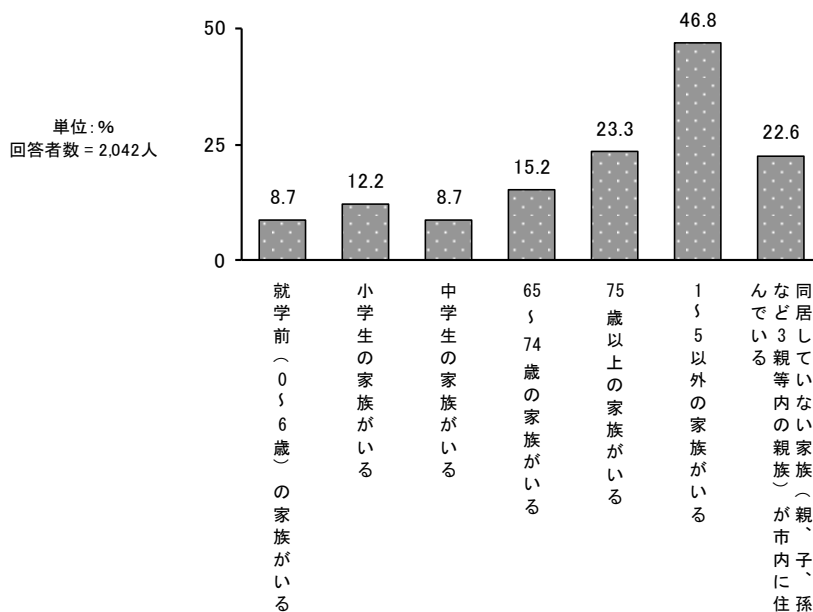
回答者の同居している世帯構成については、「二世世代世帯（親と子）」の割合が47.6%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が27.4%、「単身世帯（ひとり暮らし）」の割合が15.0%となっています。



【参考】令和2年国勢調査
人口等基本集計（総務省統計局）

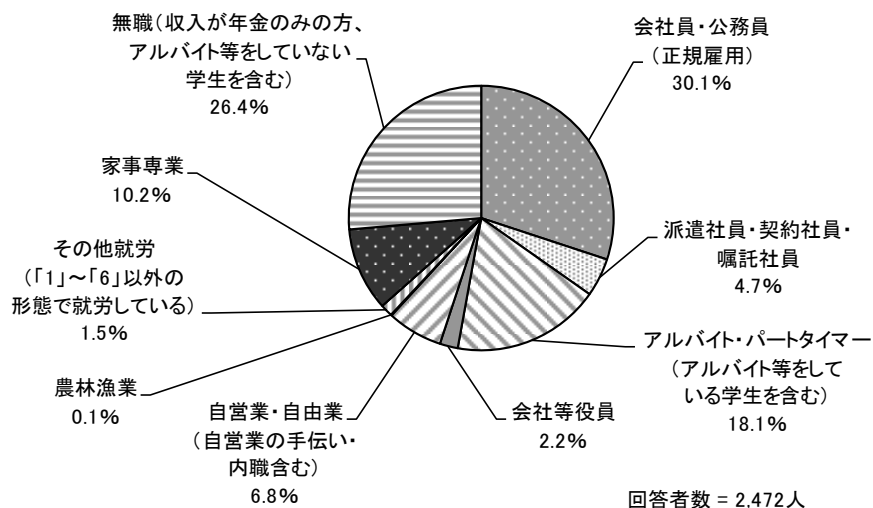
問5 同居家族等（あてはまるものすべてに○）

回答者の同居家族等については、「1～5以外の家族がいる」の割合が46.8%と最も高く、次いで「75歳以上の家族がいる」の割合が23.3%、「同居していない家族（親、子、孫など3親等内の親族）が市内に住んでいる」の割合が22.6%、「65～74歳の家族がいる」の割合が15.2%となっています。



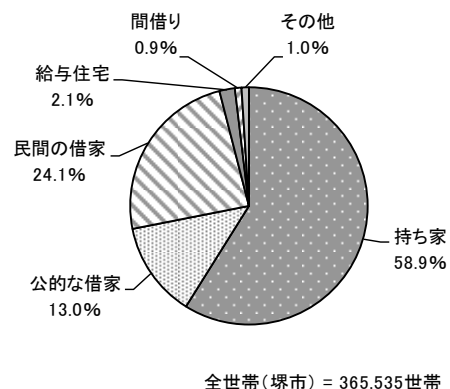
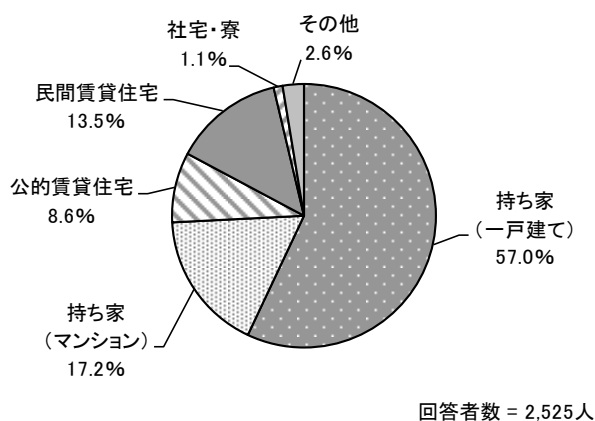
問6 職業（ひとつだけに○）

回答者の職業については、「会社員・公務員（正規雇用）」の割合が30.1%と最も高く、次いで「無職（収入が年金のみの方、アルバイト等をしていない学生を含む）」の割合が26.4%、「アルバイト・パートタイマー（アルバイト等をしている学生を含む）」の割合が18.1%となっています。



問7 お住まい（ひとつだけに○）

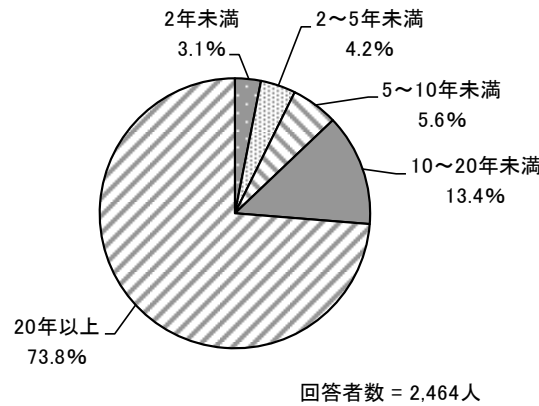
回答者の住んでいる住宅については、「持ち家（一戸建て）」の割合が57.0%と最も高く、次いで「持ち家（マンション）」の割合が17.2%、「民間賃貸住宅」の割合が13.5%となっています。



【参考】令和2年国勢調査
人口等基本集計（総務省統計局）

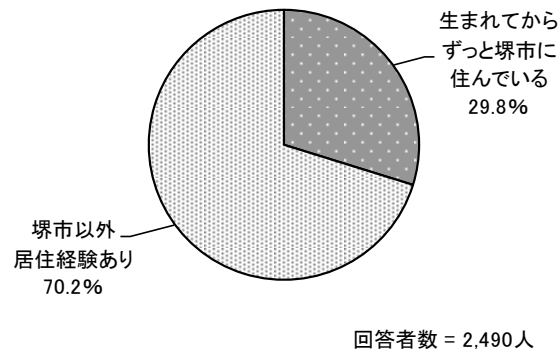
問8 堺市に何年住んでいますか。(数字をご記入ください)

回答者の堺市の居住年数については、「20年以上」の割合が73.8%と最も高く、次いで「10～20年未満」の割合が13.4%となっています。

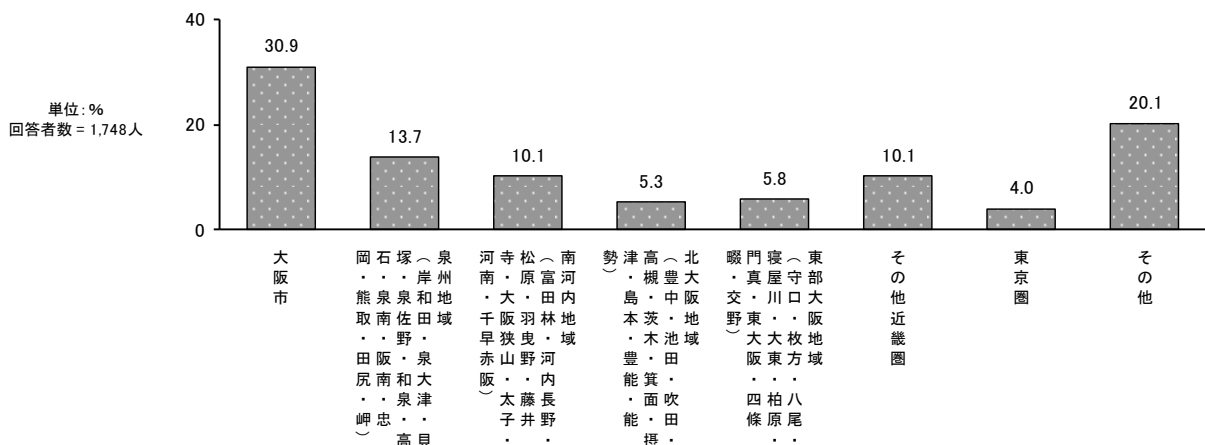


問9 堺市に住む前は、どちらに住んでいましたか。(ひとつだけに○)

回答者の堺市に住む前の居住地については、「堺市以外居住経験あり」の割合が70.2%、「生まれてからずっと堺市に住んでいる」の割合が29.8%となっています。堺市以外に居住していた地域については、「大阪市」の割合が30.9%で最も高くなっています。

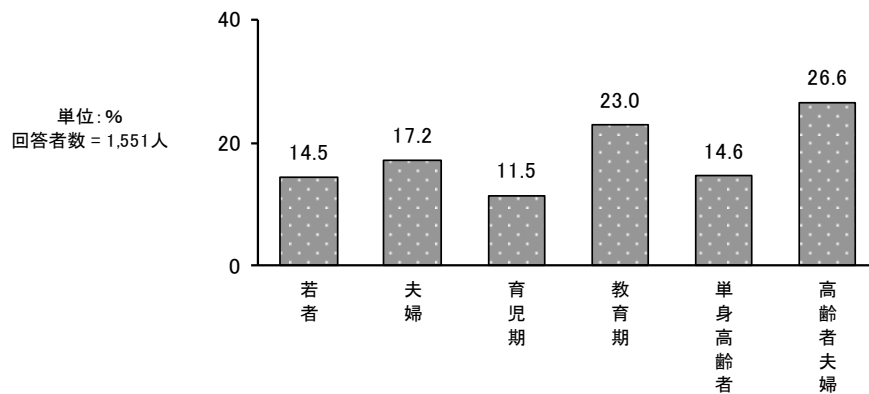


【堺市以外に居住していた地域】



ライフサイクル

ライフサイクルについては、「高齢者夫婦」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「教育期」の割合が 23.0%、「夫婦」の割合が 17.2%となっています。



ライフサイクルの区分と区分の設定条件

区分	区分の設定条件
若者	18～29歳で、夫婦のみの世帯以外の世帯の回答者
夫婦	18～64歳で、夫婦のみの世帯の回答者
育児期	小学校入学前のこどもがいる世帯の回答者
教育期	小・中学生のこどもがいる世帯の回答者
単身高齢者	65歳以上の単身世帯の回答者
高齢者夫婦	65歳以上の夫婦のみの世帯の回答者

A 堺市について

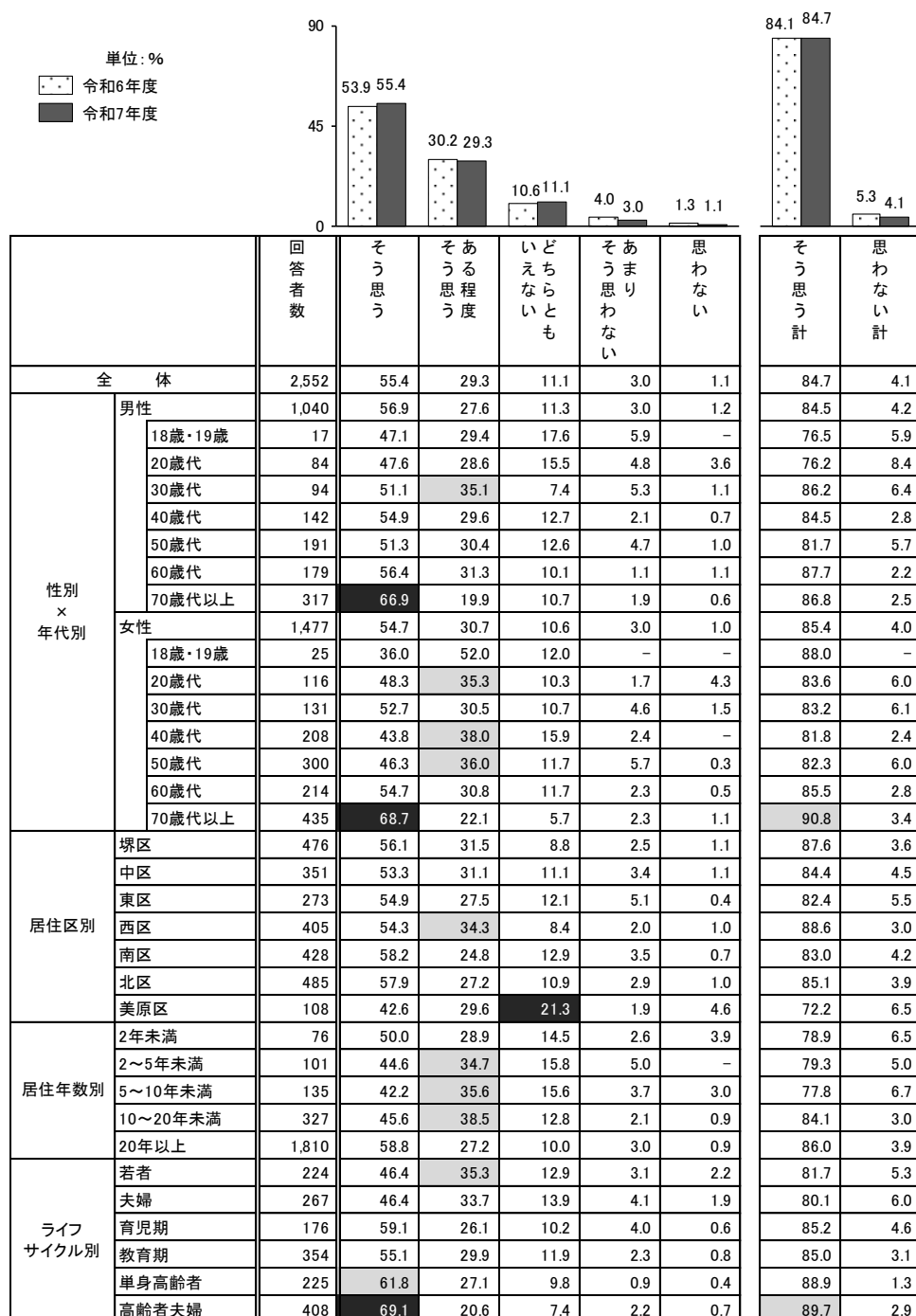
問1 これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)

これからも堺市に住み続けたいかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が84.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、“そう思う”の割合は、女性70歳代以上で9割を超えて最も高くなっています。一方、男性の20歳代では、“そう思う”の割合は8割未満と低くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、西区で88.6%と最も高くなっています。美原区では“そう思う”の割合は唯一8割未満となっており、72.2%にとどまっています。



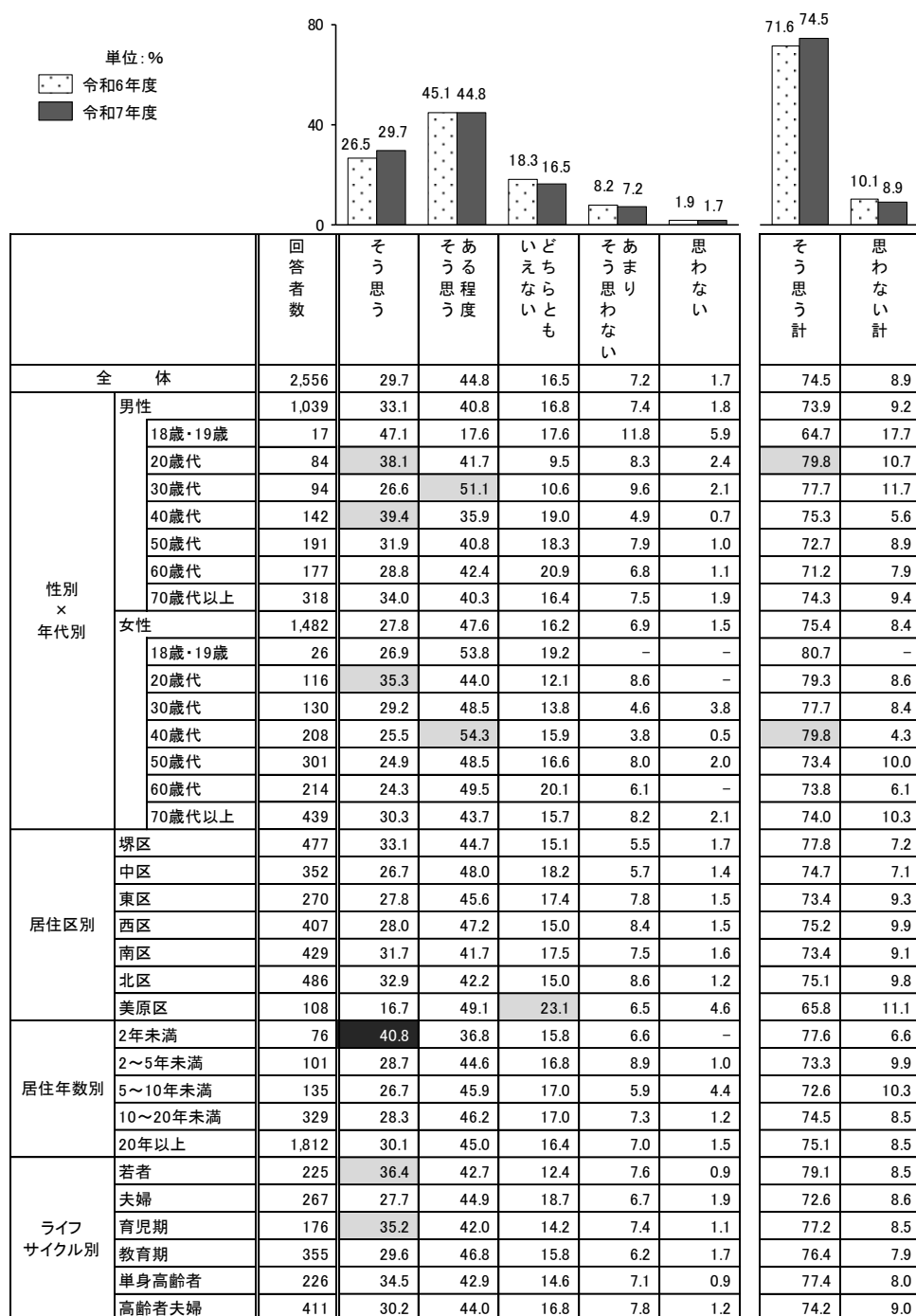
問2 堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が74.5%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合が2.9ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男性の20歳代と女性の40歳代で、“そう思う”の割合が約8割と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は美原区で65.8%と低くなっていますが、他の地区ではいずれも7割半ば前後となっています。



問3 堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境*が整っている都市だと思いますか。

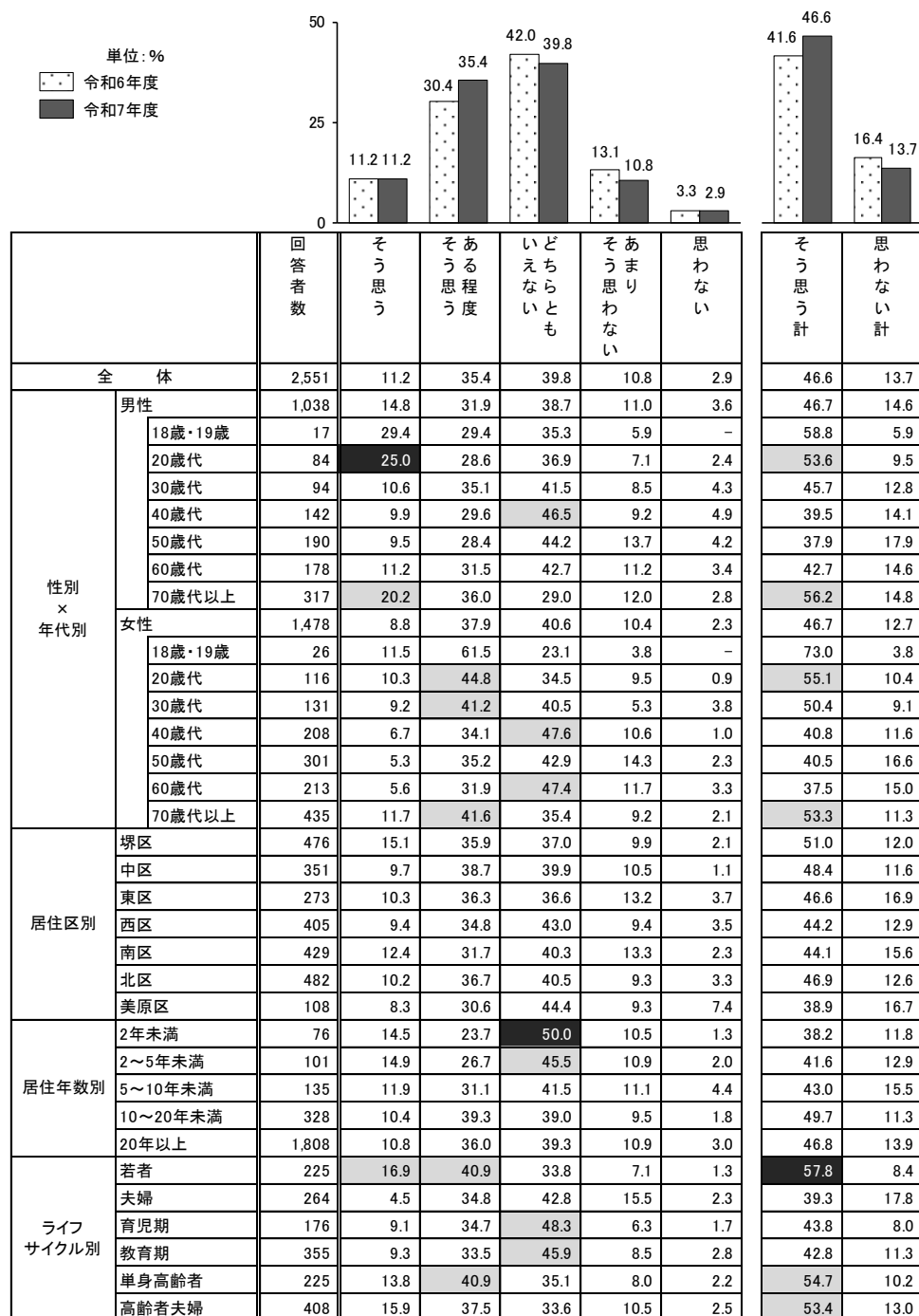
※多様性を認め合う、差別のない平等な社会のこと（ひとつだけに○）

堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境が整っている都市だと思うかについては「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が46.6%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合は5.0ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男女とも20歳代と70歳代以上で“そう思う”の割合が5割台前後と高くなっています。一方、男性の40～50歳代、女性の60歳代では4割未満と低くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、堺区で51.0%と最も高く、美原区で38.9%と最も低くなっています。



B 安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）

問1 堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思いますか。
（ひとつだけに○）

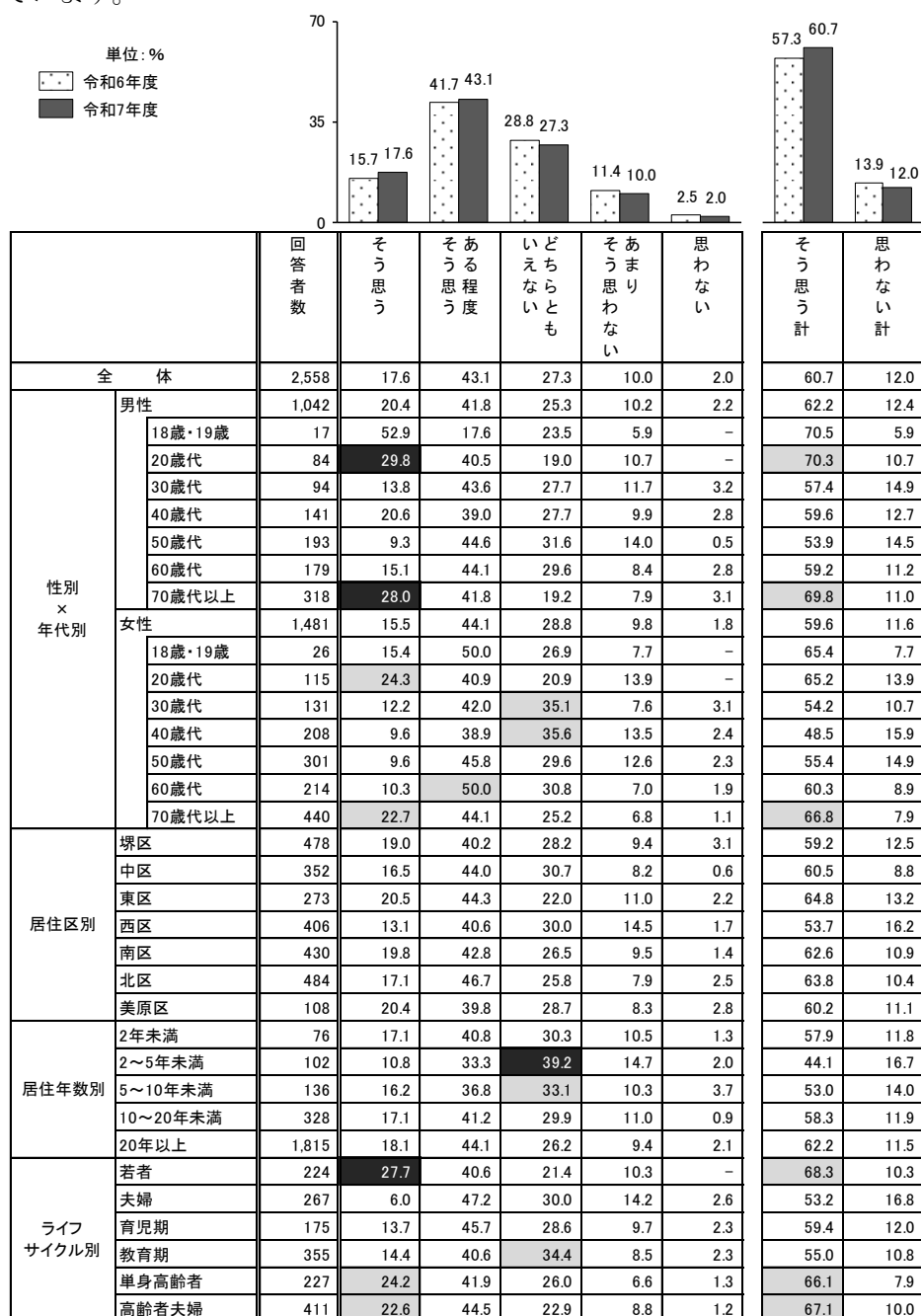
堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が60.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合は3.4ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男性の20歳代と70歳代以上で、“そう思う”の割合が約7割と高くなっています。一方、女性の40歳代では“そう思う”の割合は、48.5%と5割未満にとどまっています。

居住区別でみると、西区で“そう思う”の割合が53.7%と低くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者、単身高齢者、高齢者夫婦で“そう思う”の割合が6割半ば以上と高くなっています。



問2 地震等の災害発生に備え、ご家庭でどの程度食料・飲料水（お茶、ジュースなどを含む）を備蓄していますか。（ひとつだけに○）

※必要な飲料水の備蓄量の目安（1日当たり）：3リットル×世帯人数

地震等の災害発生に備え、家庭でどの程度食料・飲料水を備蓄しているかについては、「備蓄はしているが、3日分はない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「3日以上は備蓄しているが、7日分はない」の割合が29.8%、「備蓄していない」の割合が23.6%となっています。

性別×年代別でみると、「備蓄していない」の割合は、女性の40歳代で16.3%と最も低く、男性の20歳代で34.9%と最も高くなっています。

居住年数別でみると、2年未満の層で「備蓄していない」の割合が43.4%と高くなっています。



問3 以下は、地震等の災害対策として、指定避難所である市内全ての小学校に設置している設備です。これらの設備の中で知っているものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

地震等の災害対策として、指定避難所である市内全ての小学校に設置している設備の中で知っているものについては、「マンホールトイレ」の割合が58.9%で最も高く、次いで「組立式簡易給水タンク」の割合が43.3%、「災害時給水栓」の割合が30.8%となっています。

令和6年度調査と比べると、「マンホールトイレ」の割合は4.7ポイント減少し、「組立式簡易給水タンク」の割合が4.4ポイント増加しています

性別×年代別でみると、「マンホールトイレ」の割合は、男女とも年代が上がるごとに高くなる傾向にあり、一方、「災害時給水栓」の割合は、男女とも年代が上がるごとに概ね低くなる傾向がみられます。

居住区別でみると、南区で「マンホールトイレ」、美原区で「災害時給水栓」の割合が、全体に比べて10ポイント以上高くなっています。



問4 お住まいの地域周辺で津波、洪水、内水氾濫※、土砂災害などが発生したときに備えて、被害想定区域や指定避難所を把握していますか。
 ※内水氾濫とは雨水出水のことで下水道管や側溝に雨水を流しきれず、道路や住宅地に水があふれる現象です。

被害想定区域や指定避難場所を把握しているかについては、「把握している」の割合が63.0%、「把握していない」の割合が37.0%となっています。

性別×年代別でみると、「把握している」の割合は、男女とも60歳代で6割半ば以上と高く、男性の30歳代、女性の70歳代以上で6割未満と低くなっています。

居住区別にみると、「把握している」の割合は、東区で67.2%と最も高くなっています。

居住年数別にみると、5年未満の層では、「把握していない」が半数を超えています。



問5 堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

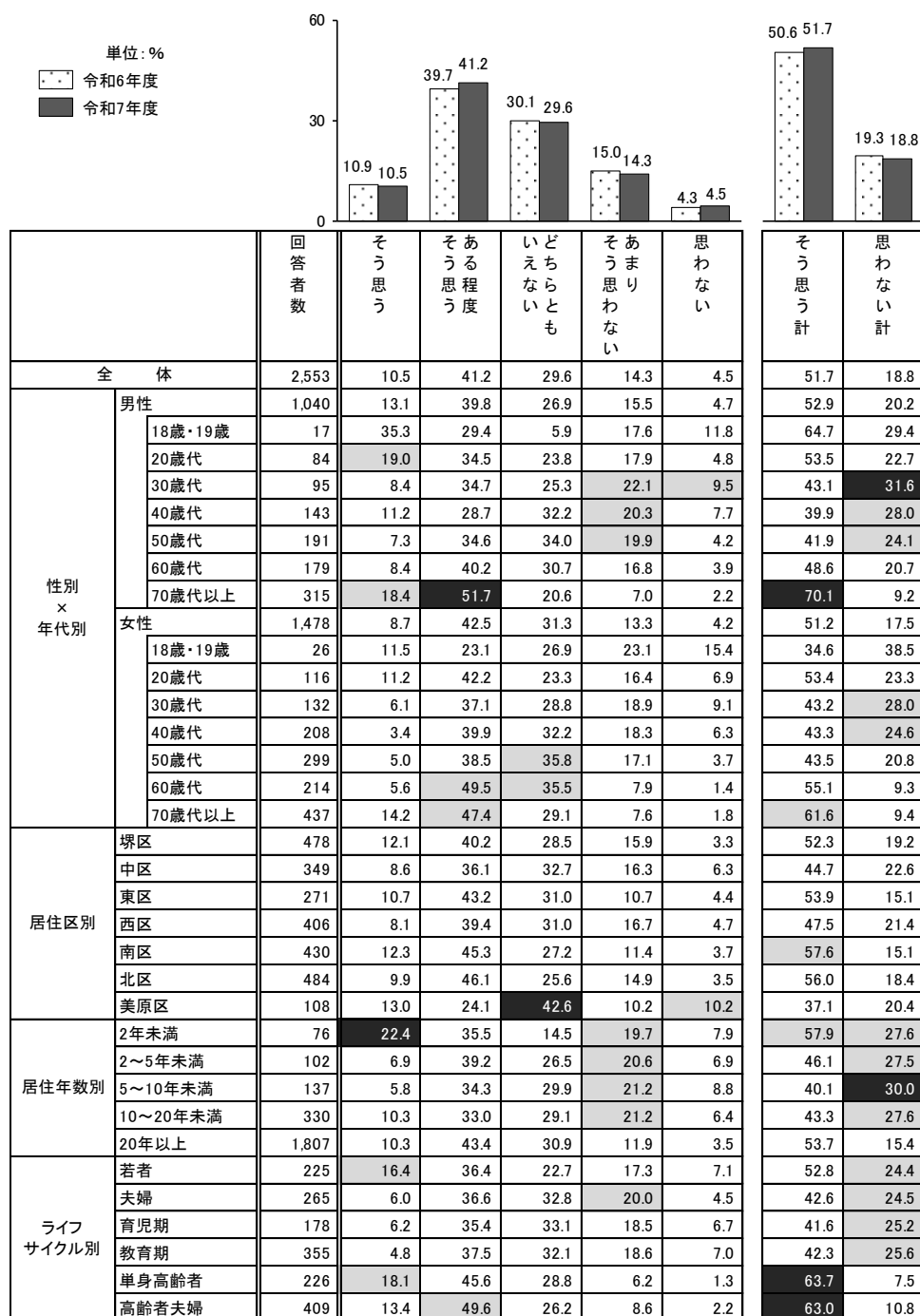
堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が51.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別で見ると、男女とも70歳代以上で、“そう思う”の割合が高く、男性70歳代以上で70.1%と特に高くなっています。一方、男性の30歳代では、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が31.6%と高くなっています。

居住区別にみると、“そう思う”の割合は、南区で57.6%と最も高く、美原区で37.1%と最も低くなっています。

居住年数別で見ると、5～10年未満の層で“思わない”の割合が30.0%と高くなっています。



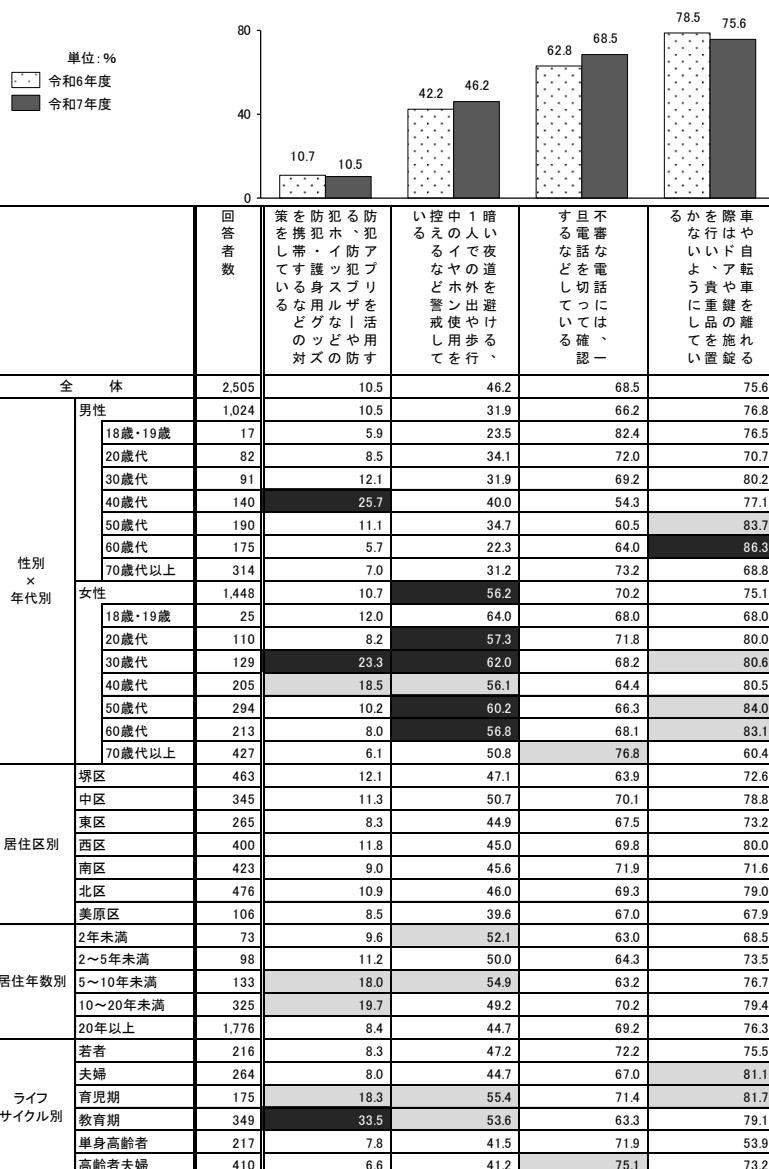
問6 生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

生活に身近な犯罪に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策については、「車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている」の割合が75.6%と最も高く、次いで「不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている」の割合が68.5%となっています。

令和6年度調査と比べると、「車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている」の割合が2.9ポイント減少し、「不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている」の割合が5.7ポイント、「暗い夜道を避ける、1人での外出や歩行中のイヤホン使用を控えるなど警戒している」の割合が4.0ポイント増加しています。

性別×年代別で見ると、女性では18～60歳代で「暗い夜道を避ける、1人での外出や歩行中のイヤホン使用を控えるなど警戒している」の割合が5割半ば以上となっています。

また、「防犯アプリを活用する、防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯・護身用グッズを携帯するなどの対策をしている」は、教育期で33.5%、育児期で18.3%と高くなっています。



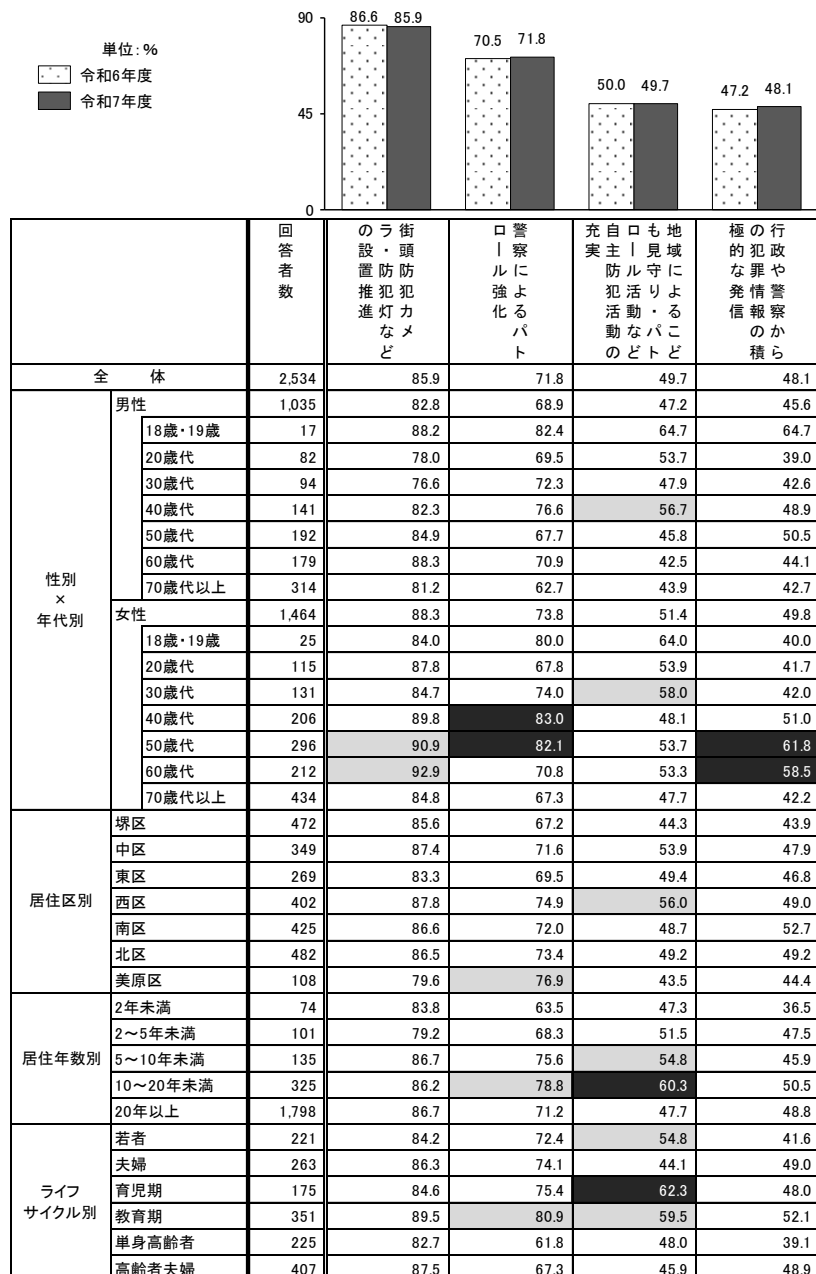
問7 生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものについては、「街頭防犯カメラ・防犯灯などの設置推進」の割合が85.9%と最も高く、次いで「警察によるパトロール強化」の割合が71.8%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別で見ると、女性の40～50歳代で「警察によるパトロール強化」、女性の50～60歳代で「行政や警察からの犯罪情報の積極的な発信」の割合が、全体に比べて10ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別で見ると、「地域による子ども見守り・パトロール活動など自主防犯活動の充実」は、育児期で62.3%、教育期で59.5%と高くなっています。



問8 堺市は子育てがしやすい都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

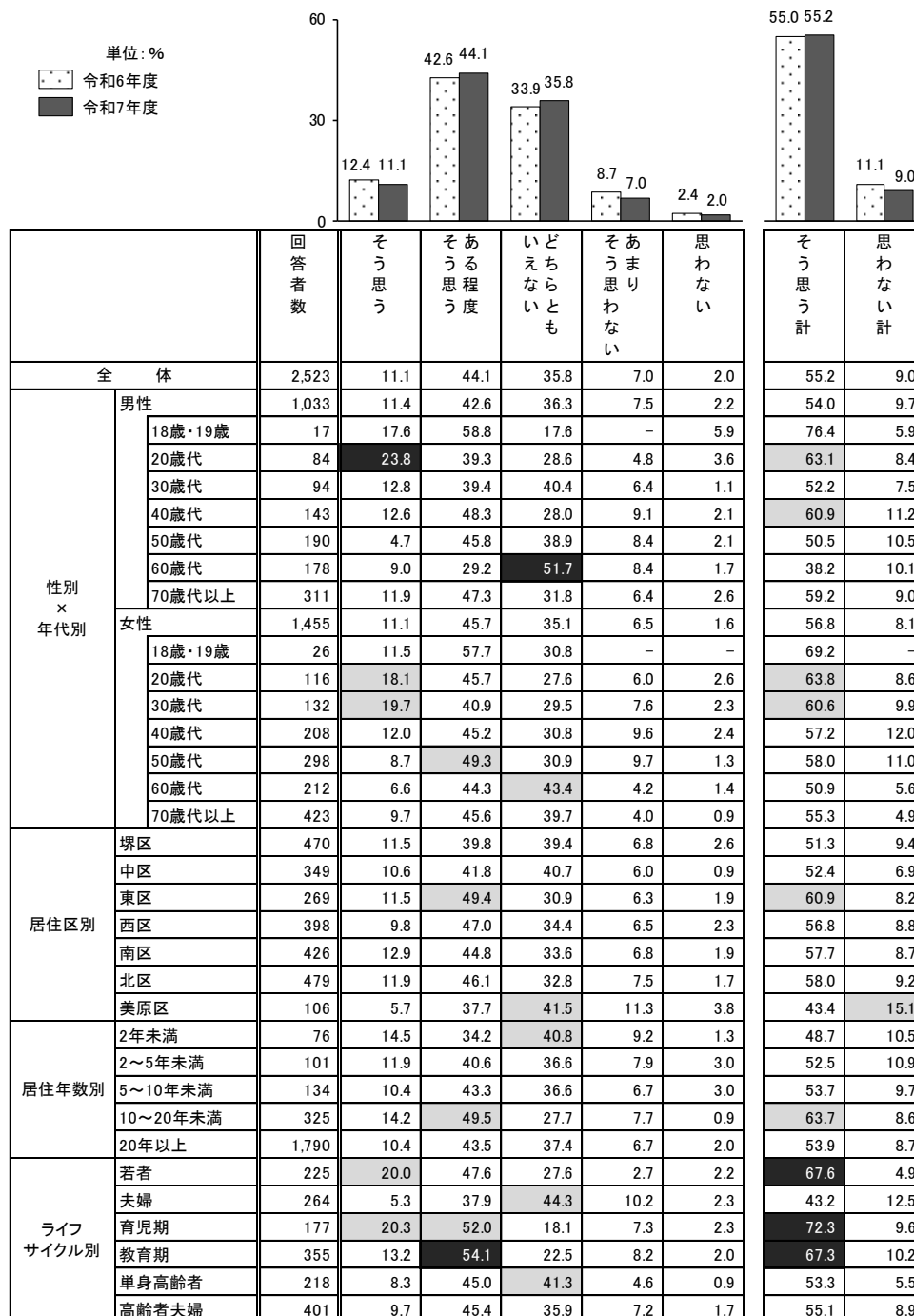
堺市は子育てがしやすい都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が55.2%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別で見ると、男女とも20歳代で“そう思う”の割合が6割前半と高くなっています。一方、男性の60歳代では“そう思う”は38.2%と低くなっています。

居住区別にみると、“そう思う”は東区で60.9%と最も高く、美原区で43.4%と最も低くなっています。

ライフサイクル別で見ると、若者、育児期、教育期で“そう思う”の割合が7割前後と高くなっています。

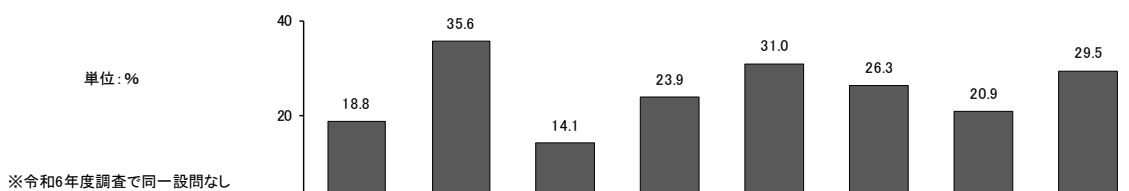


問9 前問で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」を選んだ方に伺います。その選択肢を選んだ主な理由をお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

堺市は子育てがしやすい都市だと思わない理由については、「子育ての経済的負担を軽減するための支援が不十分だから」の割合が35.6%と最も高く、次いで「公園や歩道など子どもを安心して育てられる環境の整備が不十分だから」の割合が31.0%となっています。

性別×年代別でみると、男性の30～40歳代で「子育ての精神的・身体的負担を軽減するための支援が不十分だから」「子育ての経済的負担を軽減するための支援が不十分だから」、男性の70歳代以上で「子育て世帯が交流や相談できる場・機会が不足しているから」、女性の30歳代で「仕事と子育ての両立への理解や支援が不十分だから」「公園や歩道など子どもを安心して育てられる環境の整備が不十分だから」の割合が、全体に比べて10ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期、教育期では、「子育ての経済的負担を軽減するための支援が不十分だから」の割合が6割強から7割強と高くなっています。



		回答者数	だのを子 か支軽・育 援減身て がす体の 不的精 十た負分 分め担	十た負子 分め担育 だのをの か支軽経 がす済 不的	し場流子 て・や育 い機相 る会談世 かがで ら不 足交	か支両仕 援立事と がへの子 不十理育 分解て だやの	分境て公 だの育も か整を歩 備られ道 が不安心 十環な	て居心ど放 いる場に課 る所ここ が過も週 不せごや しる安	しす子に す育情 く報支 いから 入に手 関	その他	
全体		1,063	18.8	35.6	14.1	23.9	31.0	26.3	20.9	29.5	
性別 × 年代別	男性	450	21.3	39.1	16.7	23.1	30.0	26.9	25.1	28.0	
	18歳・19歳	4	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	
	20歳代	30	16.7	26.7	6.7	20.0	23.3	20.0	30.0	36.7	
	30歳代	45	31.1	55.6	8.9	31.1	28.9	22.2	20.0	26.7	
	40歳代	54	31.5	55.6	18.5	25.9	31.5	33.3	24.1	16.7	
	50歳代	92	22.8	34.8	12.0	20.7	29.3	21.7	27.2	28.3	
	60歳代	106	15.1	35.8	14.2	25.5	35.8	30.2	24.5	27.4	
	70歳代以上	111	18.0	36.0	27.9	19.8	24.3	27.9	24.3	32.4	
	女性	589	17.0	33.1	12.4	24.8	31.1	26.1	18.0	30.6	
	18歳・19歳	8	25.0	37.5	25.0	25.0	37.5	37.5	25.0	37.5	
20歳代	42	23.8	42.9	11.9	16.7	16.7	16.7	26.2	33.3		
30歳代	52	26.9	42.3	9.6	36.5	42.3	25.0	17.3	32.7		
40歳代	89	20.2	42.7	6.7	21.3	27.0	27.0	20.2	30.3		
50歳代	121	19.8	32.2	11.6	26.4	29.8	23.1	16.5	35.5		
60歳代	99	16.2	27.3	12.1	28.3	35.4	29.3	15.2	27.3		
70歳代以上	161	7.5	25.5	16.1	21.7	29.8	26.7	16.1	27.3		
居住区別	堺区	214	19.6	33.2	13.1	23.4	29.9	21.0	22.4	29.4	
	中区	158	15.2	30.4	12.7	21.5	34.2	25.3	17.1	31.6	
	東区	102	17.6	39.2	15.7	29.4	46.1	30.4	21.6	18.6	
	西区	165	24.2	40.6	15.2	27.3	41.2	32.1	22.4	26.1	
	南区	160	18.8	33.1	16.3	23.1	19.4	25.0	22.5	32.5	
	北区	191	16.8	39.8	11.5	20.9	21.5	27.2	18.3	33.5	
美原区	59	20.3	33.9	16.9	22.0	30.5	23.7	27.1	33.9		
	居住年数別	2年未満	36	13.9	13.9	2.8	25.0	22.2	8.3	13.9	47.2
		2～5年未満	45	33.3	31.1	17.8	35.6	28.9	22.2	28.9	31.1
		5～10年未満	59	20.3	40.7	10.2	25.4	23.7	16.9	10.2	39.0
		10～20年未満	117	27.4	48.7	13.7	19.7	33.3	23.9	23.9	26.5
20年以上		773	17.1	34.9	14.9	24.1	31.3	28.1	21.3	28.1	
ライフ サイクル別	若者	72	19.4	36.1	9.7	19.4	20.8	18.1	26.4	33.3	
	夫婦	146	16.4	26.7	9.6	22.6	27.4	23.3	21.2	41.1	
	育児期	49	42.9	71.4	12.2	55.1	34.7	34.7	18.4	6.1	
	教育期	116	31.9	62.9	11.2	26.7	46.6	38.8	28.4	7.8	
	単身高齢者	88	8.0	30.7	12.5	22.7	27.3	25.0	18.2	31.8	
	高齢者夫婦	157	15.3	32.5	23.6	22.9	28.0	28.0	14.0	28.7	

問 10 あなたがお住まいの地域は近所づきあいが良いと思いますか。(ひとつだけに○)

住んでいる地域の近所づきあいが良いと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が46.9%となっています。

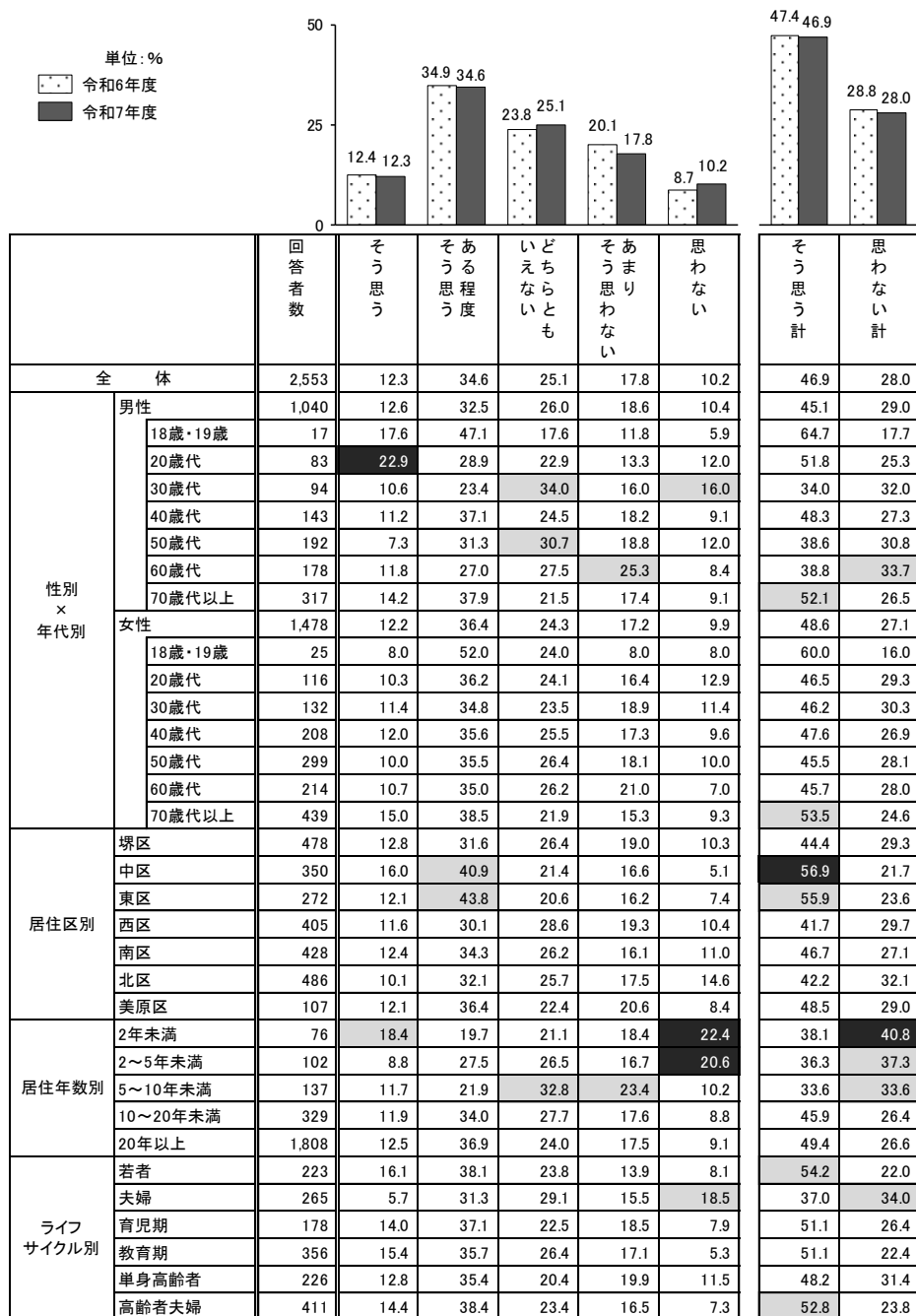
令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、男性の20歳代と男女70歳代以上で“そう思う”の割合が5割以上と高くなっています。一方、男性の30歳代では“そう思う”の割合は34.0%と低くなっています。

居住区別にみると、中区と東区で“そう思う”の割合が5割半ばと高くなっています。

居住年数別でみると、居住年数が10年以上で“そう思う”の割合が高くなっています。

ライフサイクル別でみると、夫婦では「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が34.0%と高くなっています。



問 11 健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助け
てくれる人が身近にいますか。(ひとつだけに○)

健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が
身近にいるかについては、「いる」の割合が 65.2%、「いない」の割合が 34.8%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、「いる」の割合は、女性では全ての年代で約 6 割半ば～約 8 割半ばと
高いのに対し、男性の 30 歳代と 50～60 歳代では約 5 割と低くなっています。

居住区別でみると、あまり差はみられません。

ライフサイクル別でみると、若者で「いる」の割合が 8 割弱と高くなっています。

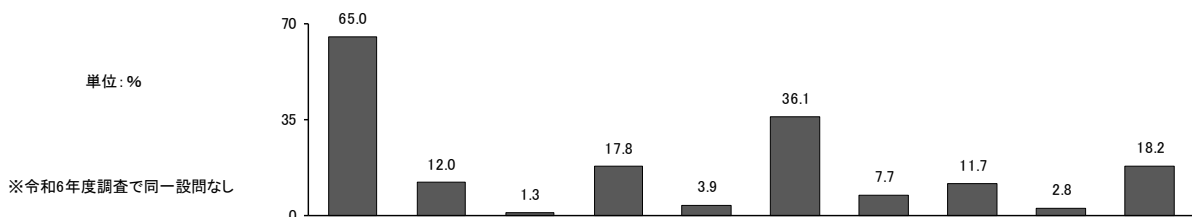


問 12 生活や健康等の困りごと・悩みを相談できる窓口のうち知っている相談窓口をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

生活や健康等の困りごと・悩みを相談できる窓口のうち知っている相談窓口は、「各区役所の生活援護課・地域福祉課・子育て支援課・保健センター」の割合が65.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が36.1%、「社会福祉協議会」の割合が17.8%となっています。

性別×年代別で見ると、女性の30～50歳代で「各区役所の生活援護課・地域福祉課・子育て支援課・保健センター」の割合が8割弱から約8割半ばと高くなっています。また、女性の60歳代以上では、「地域包括支援センター」の割合が5割強と高くなっています。一方、男性では20～60歳代で「この中に知っている相談窓口はない」の割合が約2割半ばと高くなっています。

居住区別にみると、中区で「各区役所の生活援護課・地域福祉課・子育て支援課・保健センター」の割合が70.5%、南区で「地域包括支援センター」の割合が43.8%と高くなっています。

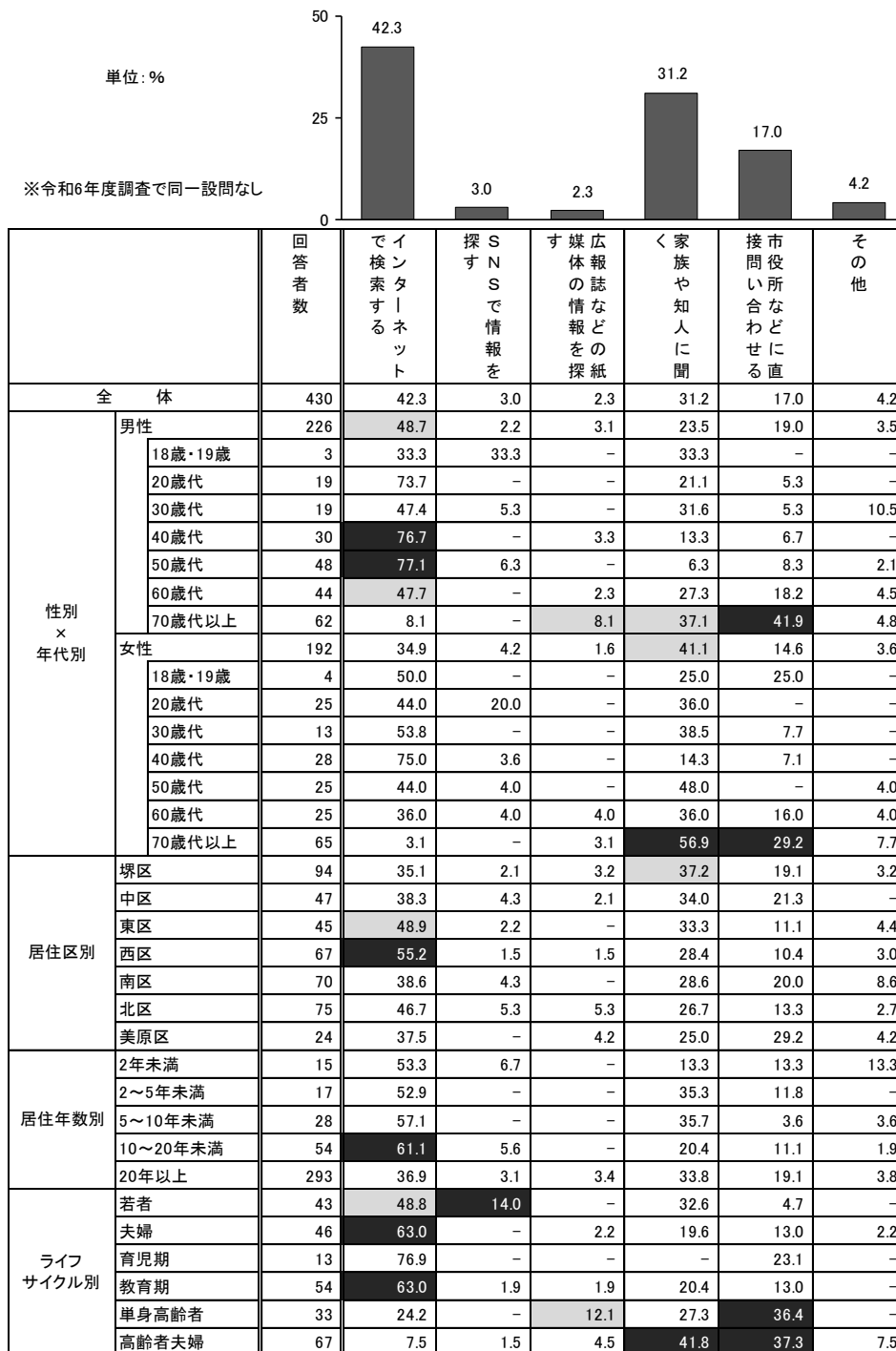


		回答者数	支・各 地 区 役 所 の 生 活 援 護 課 ・ 地 域 福 祉 課 ・ 子 育 て 支 援 課 ・ 保 健 セ ン タ ー	こ ころ の 健 康 セ ン タ ー	タ ュ ー ス サ ポ ー ト セ ン	社 会 福 祉 協 議 会	タ ー ー す て つ ぶ ・ 生 活 ・ 仕 事 応 援 セ ン	地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー	障 害 者 基 幹 相 談 支 援 セ ン タ ー	子 ども 相 談 所	談 話 窓 口	そ の 他 の 民 間 団 体 の 相 談 窓 口	こ の 中 に 知 っ て い る 相 談 窓 口 は な い
全 体		2,466	65.0	12.0	1.3	17.8	3.9	36.1	7.7	11.7	2.8	18.2	
性別 × 年代別	男性	1,004	60.1	11.6	1.6	20.4	3.6	28.5	8.5	11.7	2.9	23.5	
	18歳・19歳	16	56.3	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	50.0	6.3	18.8	
	20歳代	80	53.8	26.3	2.5	13.8	3.8	22.5	10.0	21.3	3.8	26.3	
	30歳代	92	63.0	19.6	2.2	17.4	5.4	28.3	9.8	12.0	1.1	23.9	
	40歳代	138	63.0	12.3	0.7	18.1	3.6	23.9	10.1	17.4	2.9	23.2	
	50歳代	186	58.1	11.3	0.5	17.7	2.2	20.4	7.0	11.8	3.8	26.9	
	60歳代	174	59.8	8.0	2.3	24.1	4.0	29.9	5.7	10.3	4.0	25.9	
	70歳代以上	304	60.5	5.6	1.0	24.0	3.3	35.5	9.2	5.3	2.0	20.4	
	女性	1,432	68.8	12.4	1.1	16.0	4.1	41.5	7.3	11.9	2.8	14.1	
	18歳・19歳	26	57.7	30.8	3.8	7.7	3.8	11.5	7.7	30.8	3.8	15.4	
	20歳代	113	58.4	18.6	1.8	10.6	4.4	19.5	3.5	19.5	2.7	22.1	
	30歳代	129	84.5	14.7	1.6	8.5	5.4	20.9	3.9	17.8	0.8	11.6	
	40歳代	204	79.4	17.6	1.0	15.2	5.4	32.4	8.8	19.1	3.9	14.2	
	50歳代	294	78.2	13.3	1.4	16.7	3.4	41.8	9.5	13.3	3.1	10.2	
60歳代	209	69.4	15.3	1.9	18.2	5.7	54.5	7.7	7.7	3.3	12.9		
70歳代以上	418	56.2	5.0	-	19.1	2.4	52.9	7.2	5.3	2.4	15.6		
居住区別	堺区	453	57.6	9.5	1.1	17.7	3.3	33.8	6.4	9.1	3.8	21.9	
	中区	339	70.5	15.3	2.7	18.6	4.7	38.3	8.6	16.5	2.9	14.5	
	東区	263	65.8	12.9	0.8	16.7	6.5	34.2	8.7	13.3	4.2	18.3	
	西区	393	64.1	10.7	1.8	19.3	3.8	33.6	7.9	13.5	3.3	18.1	
	南区	418	65.1	9.1	0.5	17.7	2.6	43.8	8.1	10.0	1.2	16.7	
	北区	477	69.8	15.7	1.0	17.2	4.0	34.4	8.4	11.3	2.3	17.0	
	美原区	101	62.4	9.9	1.0	16.8	1.0	29.7	3.0	6.9	1.0	23.8	
居住年数別	2年未満	70	60.0	7.1	2.9	15.7	5.7	27.1	4.3	8.6	5.7	24.3	
	2～5年未満	96	67.7	5.2	2.1	12.5	3.1	21.9	4.2	8.3	1.0	20.8	
	5～10年未満	133	67.7	14.3	-	9.8	3.8	27.8	4.5	13.5	2.3	22.6	
	10～20年未満	318	68.2	18.2	1.9	15.7	6.0	23.9	7.5	18.2	2.8	17.3	
	20年以上	1,761	64.8	11.6	1.1	19.3	3.5	40.3	8.5	11.2	3.0	17.3	
ライフ サイクル別	若者	219	57.5	26.0	2.7	12.8	5.0	20.5	7.3	25.6	3.7	20.5	
	夫婦	256	63.3	12.5	0.8	19.9	3.1	36.7	10.2	9.8	2.0	19.5	
	育児期	174	84.5	12.1	1.1	9.8	4.6	22.4	8.0	21.3	3.4	9.2	
	教育期	348	75.3	13.8	1.4	12.4	4.3	25.3	8.9	20.7	2.9	15.8	
	単身高齢者	217	59.4	6.5	0.9	21.7	3.7	47.5	5.1	2.3	3.7	15.7	
	高齢者夫婦	392	61.0	7.9	0.8	22.7	2.6	45.2	7.4	6.9	1.8	17.1	

問 13 前問で「この中に知っている相談窓口はない」を選んだ方に伺います。
 生活の悩みや困りごとがあり相談したいと思った場合、どのような方法で相談窓口を探しますか。(ひとつだけに○)

生活の悩みや困りごとがあり相談したいと思った場合に、相談窓口を探す方法は、「インターネットで検索する」の割合が42.3%で最も高く、次いで「家族や知人に聞く」の割合が31.2%、「市役所などに直接問い合わせる」の割合が17.0%となっています。

性別×年代別でみると、男性の40～50歳代では「インターネットで検索する」の割合が約7割台後半と高くなっています。また、男性の70歳代以上で「市役所などに直接問い合わせる」の割合が41.9%、女性の70歳代以上で「家族や知人に聞く」の割合が56.9%と高くなっています。



問 14 あなたはゲートキーパーについて知っていますか。(ひとつだけに○)
 ※ゲートキーパーとは、悩んでいる人や自殺の危険を示すサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な相談窓口や支援につなげ、見守る人のことです。

ゲートキーパーについて知っているかについては、「知らない」の割合が 83.2%と最も高く、次いで「名称は聞いたことがある」の割合が 12.5%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、「知らない」の割合が 4.9 ポイント増加し、「名称は聞いたことがある」の割合が 5.2 ポイント減少しています。

性別×年代別でみると、男性の 20 歳代で「内容を知っている」の割合が 13.3%、男性の 20 歳代と 50 歳代で「名称は聞いたことがある」の割合が約 2 割と高くなっています。また、男女とも 70 歳代以上で「知らない」の割合がともに 9 割弱と高くなっています。

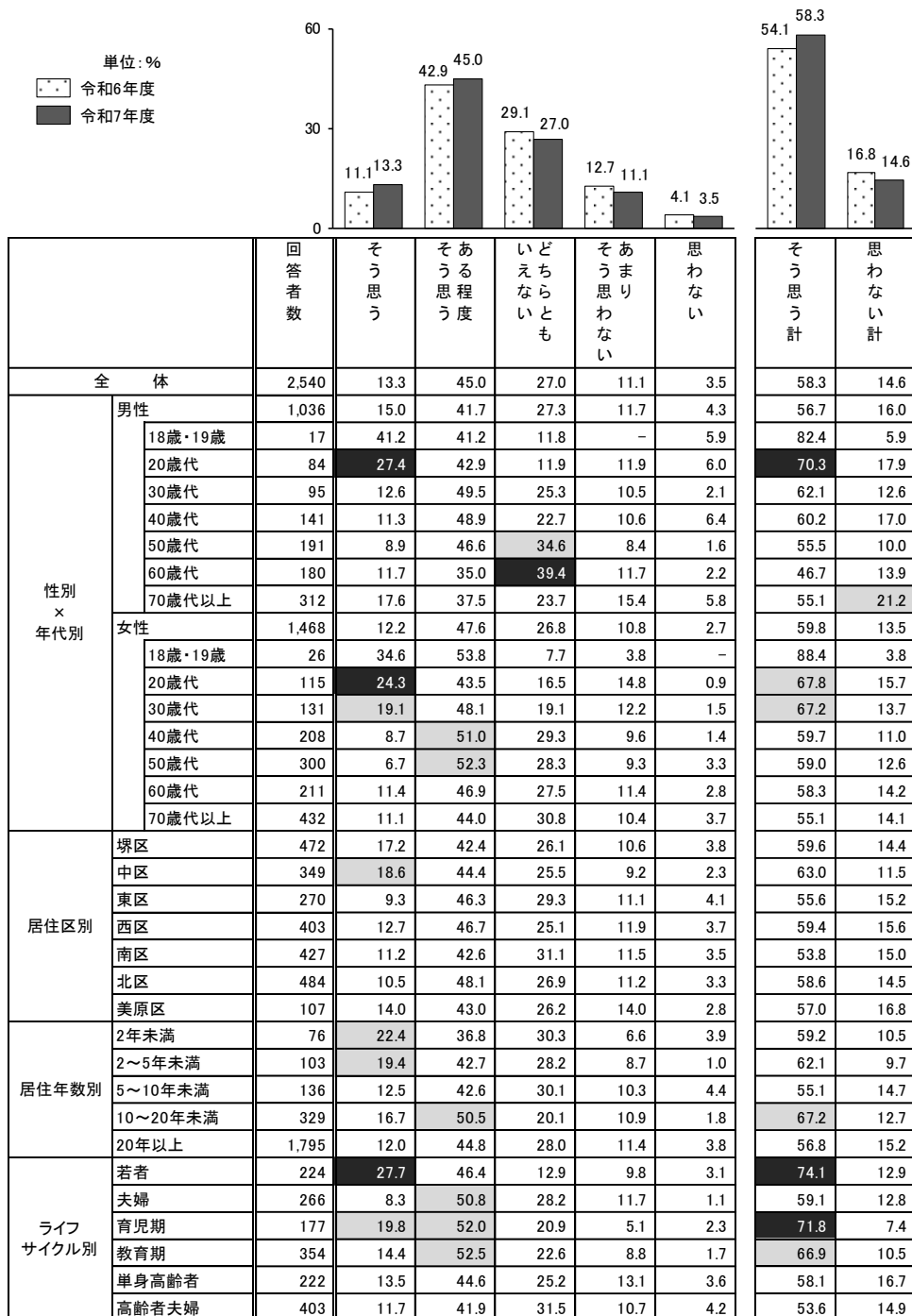


問 15 堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発な都市だと思いますか。（ひとつだけに○）

堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発な都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が58.3%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合が4.2ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男女とも20歳代で「そう思う」の割合が2割半前後と高くなっています。一方、男性の70歳代以上では、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”が21.2%と高くなっています。



問 16 定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。(ひとつだけに○)

定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしているかについては、「している」の割合が75.9%、「していない」の割合が24.1%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、「している」の割合は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、男女とも70歳代以上で約9割と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、「している」の割合は、高齢者夫婦では91.6%と高い一方、若者では45.7%と低くなっています。



問 17 40 歳～74 歳の方に伺います。

あなたは特定健康診査を受診していますか。(ひとつだけに○)

※特定健康診査とは、生活習慣病の予防のため、40 歳から 74 歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目し行う健診のことで、職場の健康診断や人間ドックを含みます。

40 歳～74 歳の方で、特定健康診査を受診しているかについては、「受診している」の割合が 71.0%、「受診していない」の割合が 29.0%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、男性の 50 歳代で「受診している」の割合が 79.5%と高くなっています。男性ではいずれの年代でも「受診している」の割合は 7 割台ですが、女性では 60 歳代以上では 6 割強とやや低めになっています。

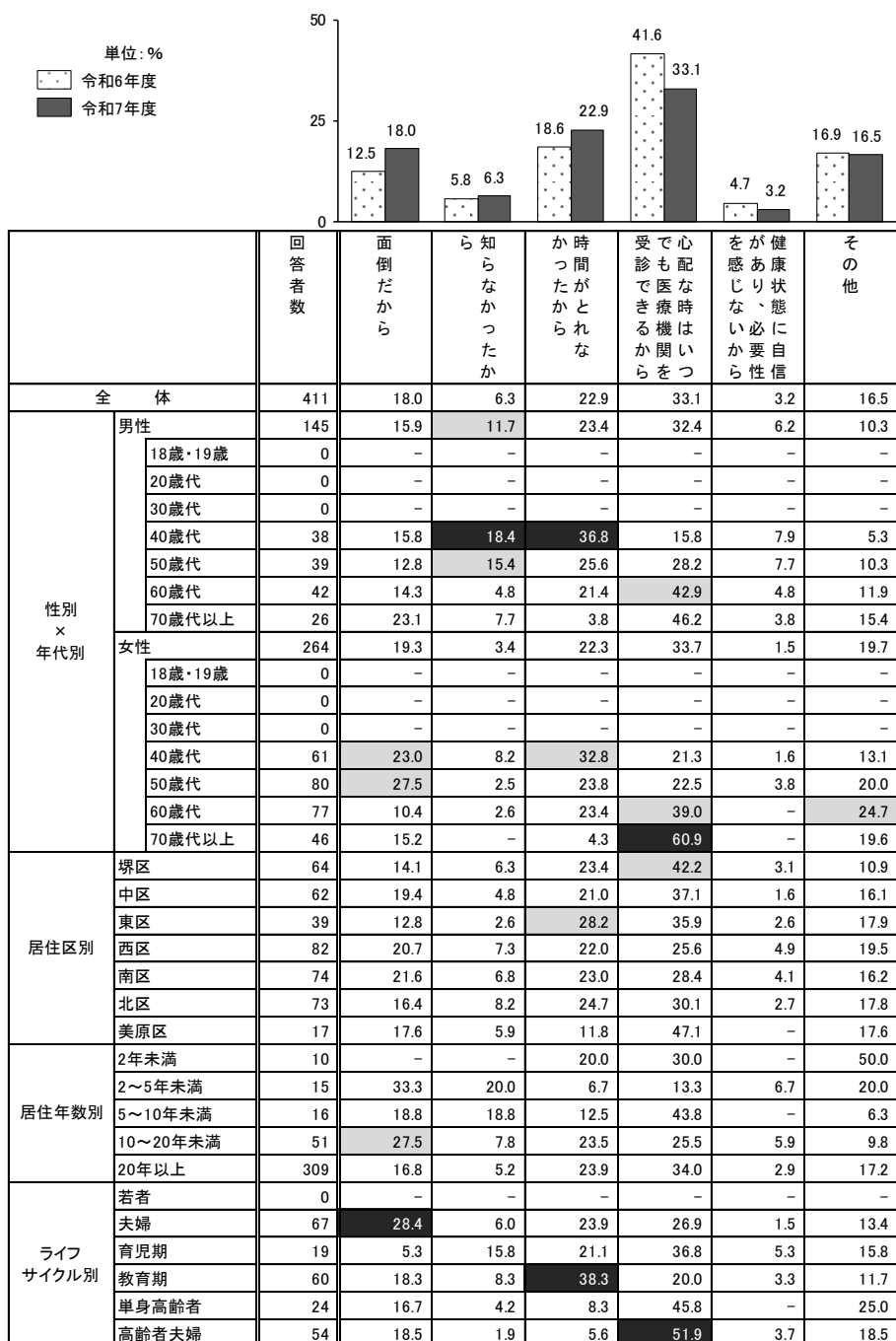


問 18 前問で「受診していない」を選んだ方に伺います。
受診していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

40歳～74歳の方で、特定健康診査を受診していない最も大きな理由については、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が33.1%と最も高く、次いで「時間がとれなかったから」の割合が22.9%、「面倒だから」の割合が18.0%となっています。

令和6年度調査と比べると、「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が8.5ポイント減少し、「面倒だから」の割合が5.5ポイント、「時間がとれなかったから」の割合が4.3ポイント増加しています。

性別×年代別で見ると、男性の40歳代で「時間がとれなかったから」「知らなかったから」、女性の70歳代以上で「心配な時はいつでも医療機関を受診できるから」の割合が、全体と比べて10ポイント以上高くなっています。



問 19 外出する頻度はどのくらいですか。

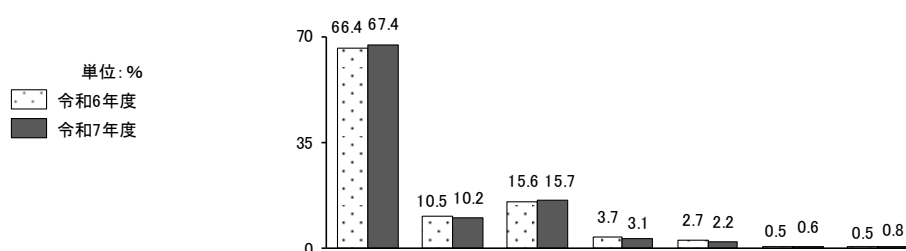
※学校、仕事、買い物、飲食、隣近所等への外出を含む（ひとつだけに○）

外出する頻度については、「週 5 回以上」の割合が 67.4%と最も高く、次いで「週 2～3 回」の割合が 15.7%、「週 4 回」の割合が 10.2%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、男女とも 20～50 歳代で「週 5 回以上」の割合が 7 割台後半を超えています。

ライフサイクル別でみると、若者、育児期、教育期で「週 5 回以上」の割合が全体と比べて 10 ポイント以上高く、8 割を超えています。単身高齢者、高齢者夫婦では「週 5 回以上」の割合は 5 割弱にとどまり、「週 2～3 回」の割合が全体と比べて 2 割前後と高くなっています。



		回答者数	週5回以上	週4回	週2～3回	週1回	月に数回	年に数回	外出しない
全 体		2,525	67.4	10.2	15.7	3.1	2.2	0.6	0.8
性別 × 年代別	男性	1,031	71.0	7.4	14.2	3.6	2.4	0.4	1.1
	18歳・19歳	17	94.1	5.9	-	-	-	-	-
	20歳代	83	80.7	6.0	7.2	2.4	1.2	2.4	-
	30歳代	95	82.1	3.2	9.5	2.1	1.1	-	2.1
	40歳代	142	90.1	2.1	4.2	1.4	2.1	-	-
	50歳代	191	90.6	4.2	3.1	2.1	-	-	-
	60歳代	180	71.1	13.3	12.8	1.7	1.1	-	-
	70歳代以上	307	44.0	9.8	29.6	7.8	5.2	0.7	2.9
	女性	1,459	65.4	11.9	16.7	2.7	2.0	0.7	0.6
	18歳・19歳	26	80.8	3.8	15.4	-	-	-	-
20歳代	115	77.4	9.6	11.3	0.9	-	-	0.9	
30歳代	132	78.8	8.3	9.8	1.5	1.5	-	-	
40歳代	206	84.5	6.3	7.3	1.9	-	-	-	
50歳代	300	77.3	10.3	10.7	1.3	0.3	-	-	
60歳代	212	70.8	9.0	17.9	1.4	0.5	-	0.5	
70歳代以上	425	38.4	17.6	28.7	5.6	5.6	2.4	1.6	
居住区別	堺区	469	70.4	8.7	11.9	4.5	3.0	0.2	1.3
	中区	349	67.3	8.6	16.9	2.3	2.9	0.3	1.7
	東区	267	64.0	13.1	18.0	2.2	2.6	-	-
	西区	403	69.2	10.2	16.1	1.7	1.2	0.7	0.7
	南区	424	63.0	11.3	18.6	4.2	1.4	0.9	0.5
	北区	479	70.8	8.6	14.6	2.7	2.1	0.8	0.4
	美原区	107	65.4	15.0	10.3	3.7	2.8	0.9	1.9
居住年数別	2年未満	75	72.0	12.0	8.0	5.3	-	1.3	1.3
	2～5年未満	102	69.6	8.8	15.7	2.0	2.9	-	1.0
	5～10年未満	137	80.3	5.8	9.5	3.6	-	-	0.7
	10～20年未満	326	80.7	7.1	9.5	0.6	2.1	-	-
	20年以上	1,788	64.8	10.6	17.4	3.3	2.3	0.7	0.8
ライフ サイクル別	若者	223	80.3	8.1	8.5	1.3	0.4	0.9	0.4
	夫婦	267	76.8	6.7	12.7	1.9	1.9	-	-
	育児期	178	85.4	3.9	9.0	1.1	0.6	-	-
	教育期	354	83.6	6.8	7.3	0.8	1.4	-	-
	単身高齢者	219	47.0	13.7	23.3	6.8	5.9	1.8	1.4
	高齢者夫婦	398	46.7	15.6	27.9	5.0	4.0	-	0.8

問 20 1日に30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っていますか。（ひとつだけに○）

1日に30分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っているかについては、「週3回以上」の割合が44.9%と最も高く、次いで「ほとんど行っていない」の割合が24.1%、「週2回」の割合が11.9%となっています。

令和6年度調査と比べると、ほぼ同等となっています。

性別×年代別でみると、女性の60歳代で「週3回以上」の割合が52.4%と高くなっています。また、男性の20歳代では「ほとんど行っていない」の割合が13.3%と低くなっていますが、男性の50歳代では「ほとんど行っていない」の割合が30.4%と高くなっています。



問 21 前問で「ほとんど行っていない」を選んだ方に伺います。
 ほとんど行っていない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1日に30分以上の運動(日常の歩行や自転車を含む)やスポーツをほとんど行っていない理由については、「面倒だから」の割合が47.2%と最も高く、次いで「時間がないから」の割合が39.0%、「病気やけがをしているから」の割合が21.6%となっています。

令和6年度調査と比べると、「面倒だから」の割合が5.8ポイント、「病気やけがをしているから」の割合が3.2ポイント増加し、「時間がないから」の割合が2.2ポイント減少しています。

性別×年代別でみると、男女とも40歳代で「時間がないから」の割合が6割半ば前後と高くなっています。男性の40歳代では、「面倒だから」の割合も60.0%と高くなっています。また、男女とも70歳代以上では、「病気やけがをしているから」の割合が4割台と高くなっています。

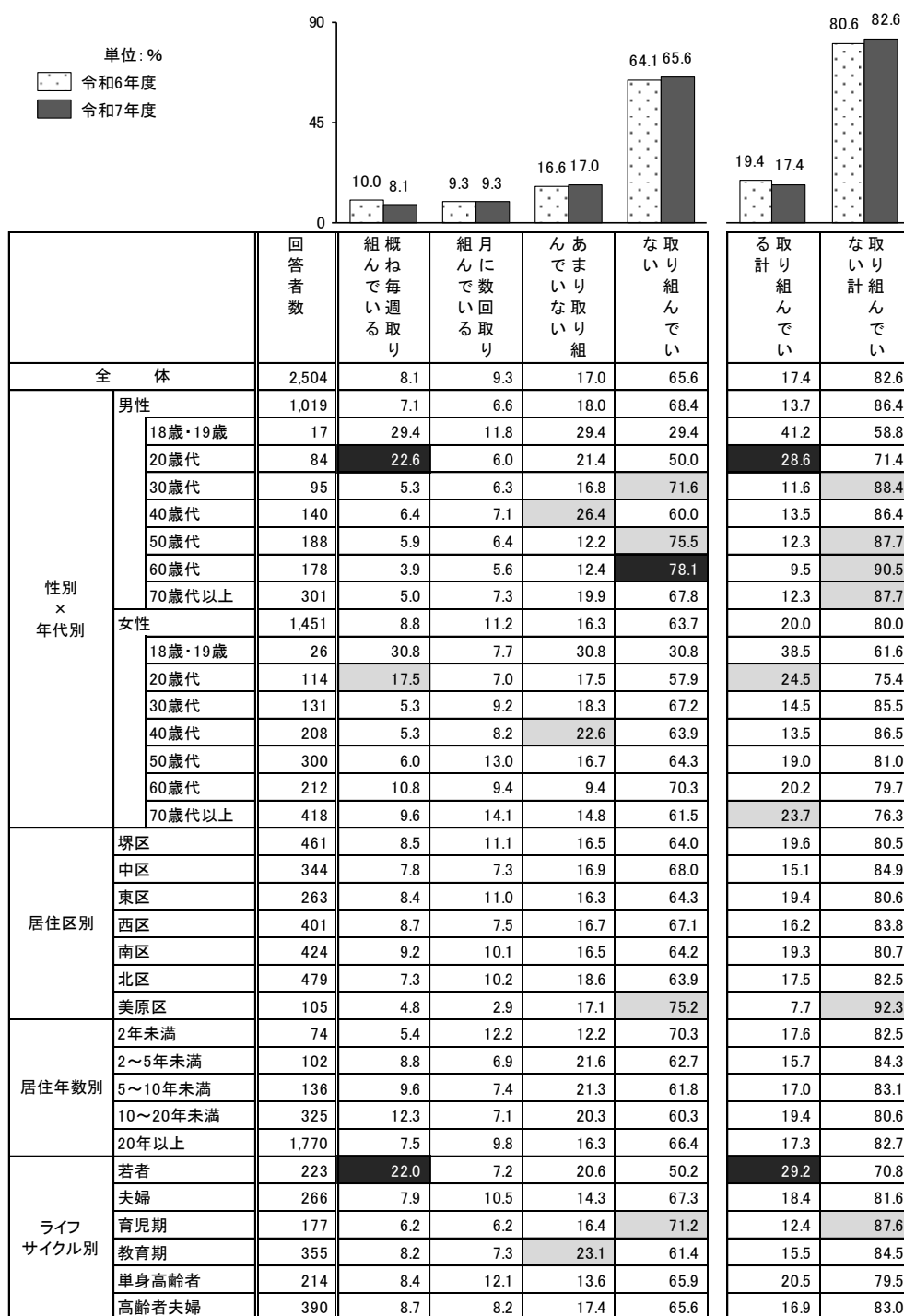


問 22 各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいますか。(ひとつだけに○)

各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいるかについては、「取り組んでいない」の割合が 65.6%と最も高く、次いで「あまり取り組んでいない」の割合が 17.0%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、「概ね毎週取り組んでいる」と「月に数回取り組んでいる」を合わせた「取り組んでいる」の割合は、男性の 20 歳代で 28.6%と高くなっています。女性の 20 歳代と 70 歳代以上でも「取り組んでいる」の割合は約 2 割半ばと高くなっています。



C 都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）

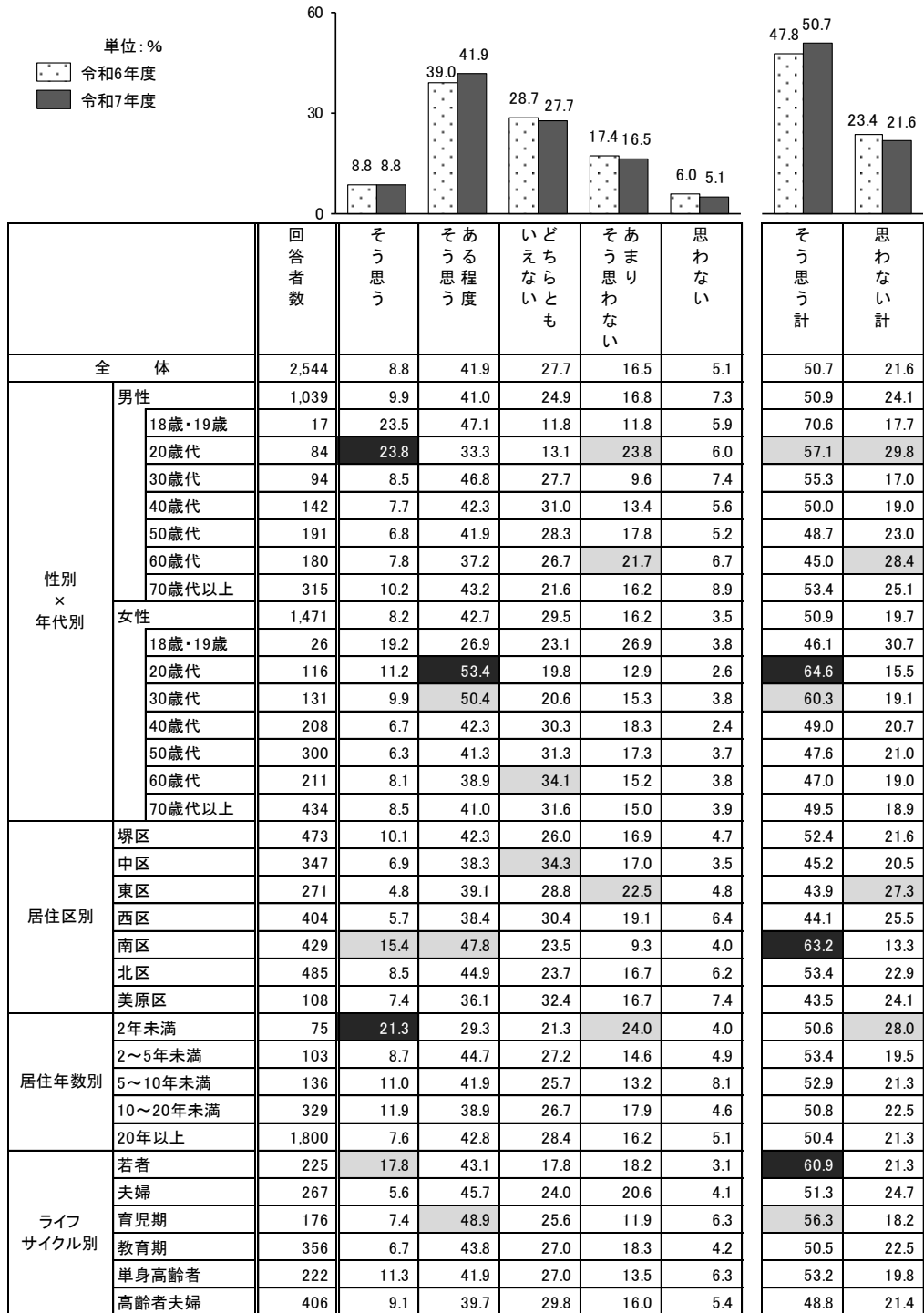
問1 堺市は街並みの美しさに満足できる都市だと思いますか。（ひとつだけに○）

堺市は街並みの美しさに満足できる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が50.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合が2.9ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、女性の20～30歳代で“そう思う”の割合が6割台と高くなっています。

居住区別でみると、南区で“そう思う”の割合が63.2%と高くなっています。



問2 堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思いますか。
(ひとつだけに○)

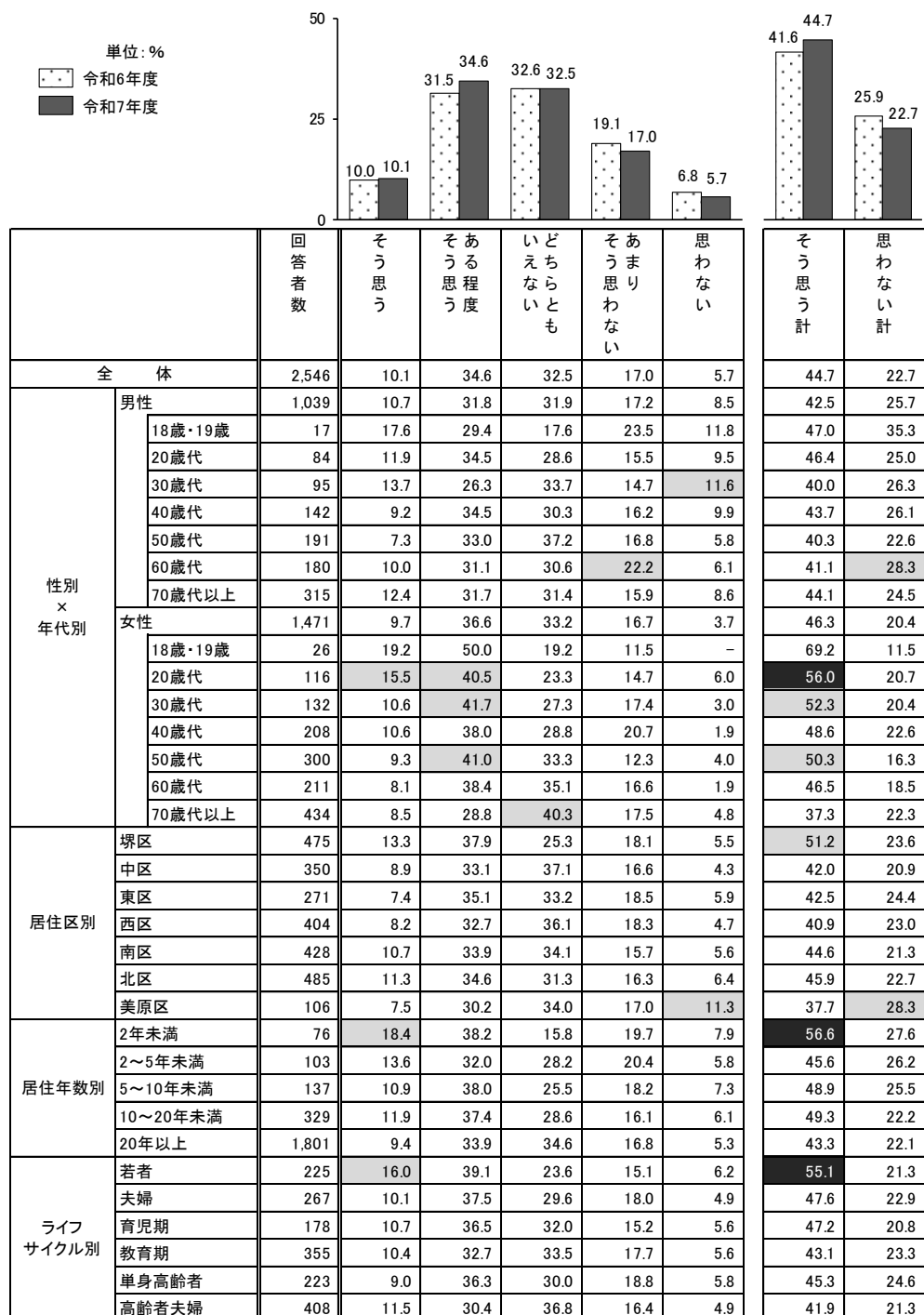
堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が44.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合は3.1ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、女性の20歳代で“そう思う”の割合が56.0%と高くなっています。

居住区別でみると、堺区で“そう思う”の割合が51.2%と高くなっています。

居住年数別でみると、2年未満の層で“そう思う”の割合が56.6%と高くなっています。



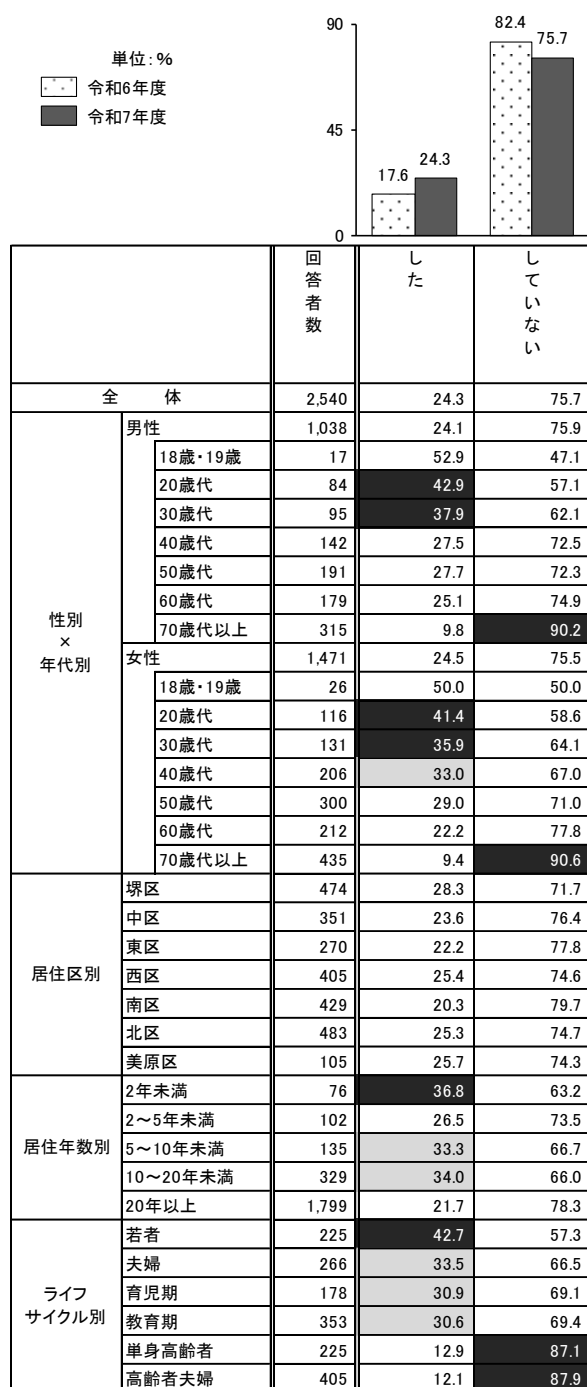
問3 概ね1年以内に、外国人と交流しましたか。
※SNSなどオンラインでの交流を含む（ひとつだけに○）

概ね1年以内に、外国人と交流したかについては、「した」の割合が24.3%、「していない」の割合が75.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、「した」の割合が6.7ポイント増加しています。

性別×年代別で見ると、男女ともに、年代が下がるにつれて「した」の割合が高くなる傾向がみられ、男女とも20歳代では4割強と高い一方、70歳代以上では1割未満となっています。

ライフサイクル別で見ると、若者で「した」が42.7%と高くなっている一方、単身高齢者と高齢者夫婦では「していない」の割合が9割弱となっています。



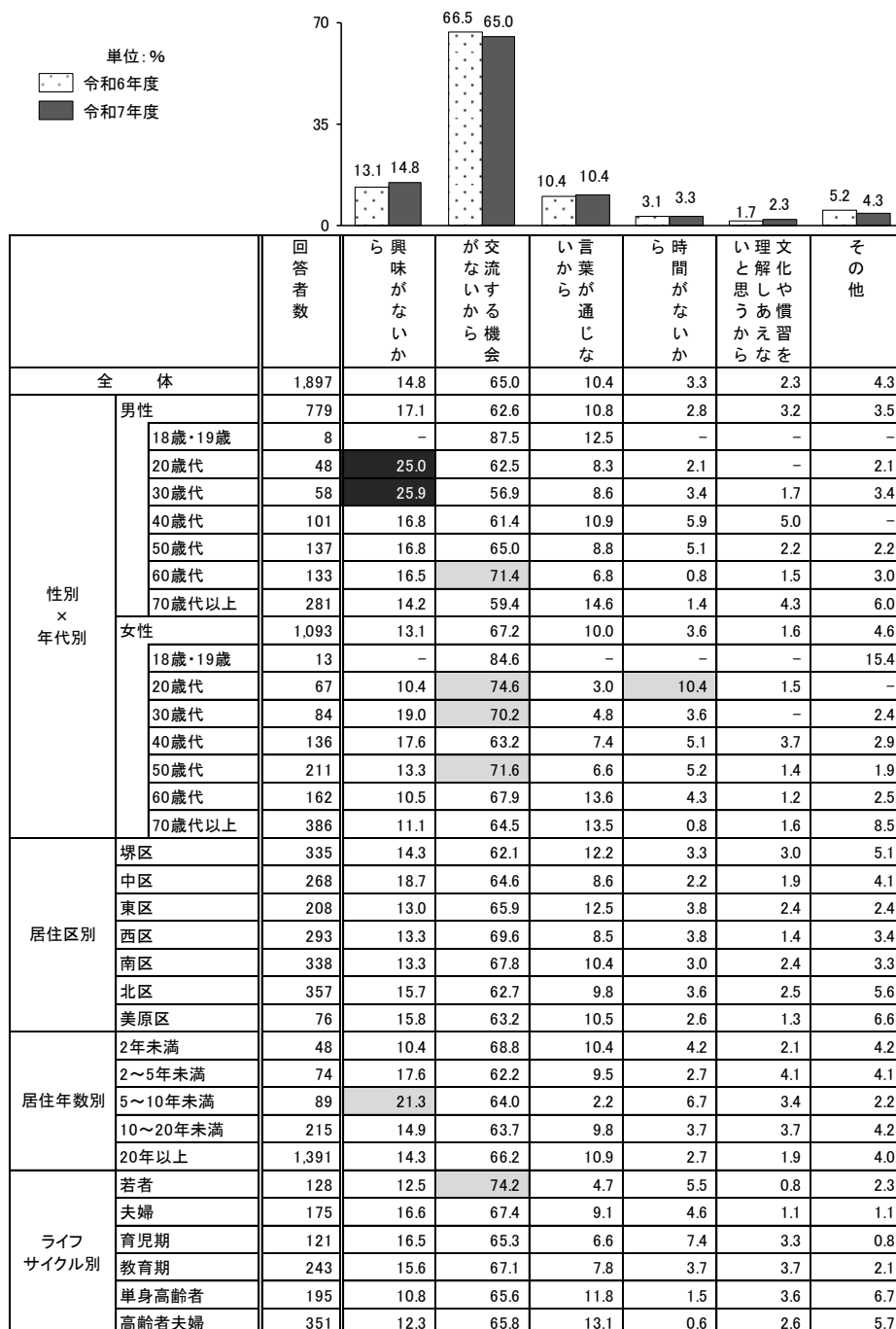
問4 前問で「していない」を選んだ方に伺います。
交流していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)

概ね1年以内に、外国人と交流していない、最も大きな理由については、「交流する機会がないから」の割合が65.0%と最も高く、次いで「興味がないから」の割合が14.8%、「言葉が通じないから」の割合が10.4%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、男性の20～30歳代で「興味がないから」の割合が2割半ばと高くなっています。

ライフサイクル別でみると、若者で「交流する機会がないから」の割合が74.2%と高くなっています。



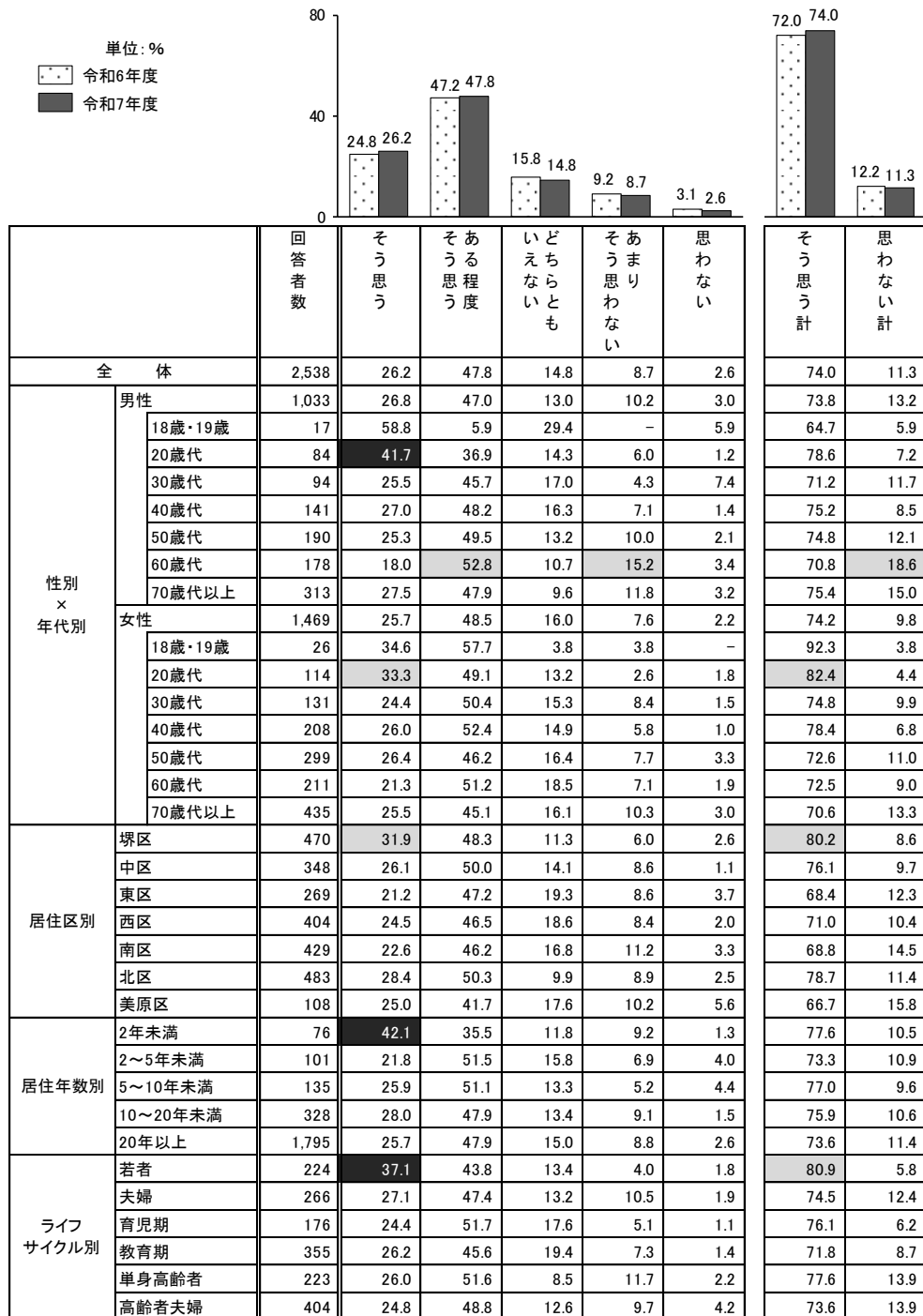
問5 堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思いますか。
(ひとつだけに○)

堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が74.0%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合が2.0ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男性の20歳代で「そう思う」の割合が41.7%と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、堺区で80.2%と高くなっています。



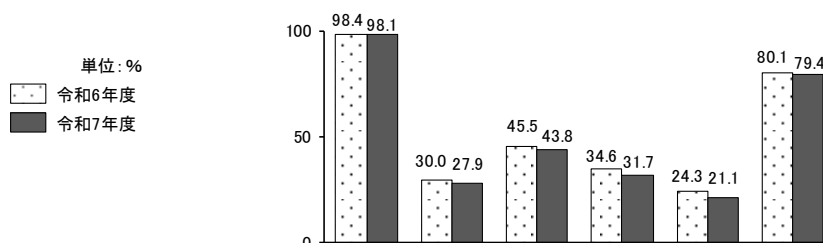
問6 次のうち、堺の伝統産業であることを知っているものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

堺の伝統産業であることを知っているものについては、「刃物」の割合が98.1%と最も高く、次いで「自転車」の割合が79.4%、「線香」の割合が43.8%となっています。

令和6年度調査と比べると、「刃物」「自転車」以外は、いずれも2~3ポイント前後減少しています。

性別×年代別でみると、男女とも60歳代以上でいずれの品においても伝統産業であることを知っている割合が他と比べて高い傾向がみられます。

居住区別でみると、堺区で「線香」と「昆布加工」、中区と西区で「注染・和晒」、中区と南区で「敷物（緞通）」の割合が、他区と比べて高くなっています。



		回答者数	刃物	注染・和晒	線香	昆布加工	敷物(緞通)	自転車
全体		2,519	98.1	27.9	43.8	31.7	21.1	79.4
性別×年代別	男性	1,026	97.7	22.8	39.9	29.3	20.6	79.4
	18歳・19歳	17	94.1	11.8	23.5	5.9	-	52.9
	20歳代	78	94.9	16.7	23.1	9.0	7.7	65.4
	30歳代	91	94.5	14.3	31.9	15.4	12.1	59.3
	40歳代	141	97.2	16.3	27.7	20.6	9.9	75.9
	50歳代	189	98.4	18.0	32.8	23.8	16.4	78.3
	60歳代	180	100.0	26.1	46.7	37.2	22.8	91.7
	70歳代以上	315	98.1	31.4	52.4	41.0	32.7	85.7
	女性	1,459	98.5	31.7	46.8	33.5	21.8	79.5
	18歳・19歳	25	100.0	20.0	32.0	20.0	8.0	72.0
	20歳代	112	94.6	12.5	22.3	13.4	3.6	70.5
	30歳代	128	96.9	14.8	21.9	10.9	9.4	57.8
	40歳代	204	99.0	31.4	35.8	23.5	16.2	75.5
	50歳代	299	98.3	30.4	49.2	34.4	23.4	80.6
60歳代	211	99.5	33.6	53.1	40.8	24.6	86.3	
70歳代以上	436	99.1	42.2	61.9	47.0	31.0	87.4	
居住区別	堺区	471	97.9	26.8	60.3	38.4	19.1	83.2
	中区	350	98.3	36.6	36.0	32.3	28.3	77.4
	東区	266	98.5	22.9	38.3	28.6	21.1	82.0
	西区	401	97.8	34.7	43.4	35.2	18.0	78.8
	南区	428	98.4	25.9	39.5	25.7	30.6	79.2
	北区	475	98.1	22.5	44.6	30.9	14.5	79.6
	美原区	102	98.0	23.5	24.5	21.6	9.8	64.7
居住年数別	2年未満	64	90.6	20.3	18.8	9.4	9.4	56.3
	2~5年未満	100	93.0	16.0	18.0	11.0	11.0	56.0
	5~10年未満	133	95.5	21.8	29.3	18.0	16.5	63.2
	10~20年未満	324	98.8	22.2	33.0	20.7	12.3	73.5
	20年以上	1,801	98.8	30.5	49.0	36.8	24.2	84.5
ライフサイクル別	若者	217	95.4	13.8	23.5	12.0	5.1	68.2
	夫婦	262	98.9	27.9	40.5	28.6	19.1	77.5
	育児期	171	95.9	19.9	25.1	17.5	11.1	63.7
	教育期	351	98.3	24.2	35.3	21.1	15.7	79.5
	単身高齢者	225	98.7	36.9	55.1	38.7	30.2	80.9
	高齢者夫婦	408	99.0	38.2	58.8	46.8	31.4	90.2

問7 次の堺産品で購入したことがあるものをお選びください。
(あてはまるものすべてに○)

堺産品で購入したことがあるものについては、「和菓子」の割合が76.7%と最も高く、次いで「堺打刃物・堺刃物」の割合が55.2%、「昆布（おぼろ昆布・とろろ昆布）」の割合が33.9%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、女性の70歳代以上では、「堺打刃物・堺刃物」「昆布（おぼろ昆布・とろろ昆布）」「線香」の割合が全体と比べて10ポイント以上高くなっています。

居住区別でみると、堺区で「線香」の割合が44.0%、中区で「注染・和晒（手ぬぐい・ゆかた）」の割合が25.7%と高くなっています。



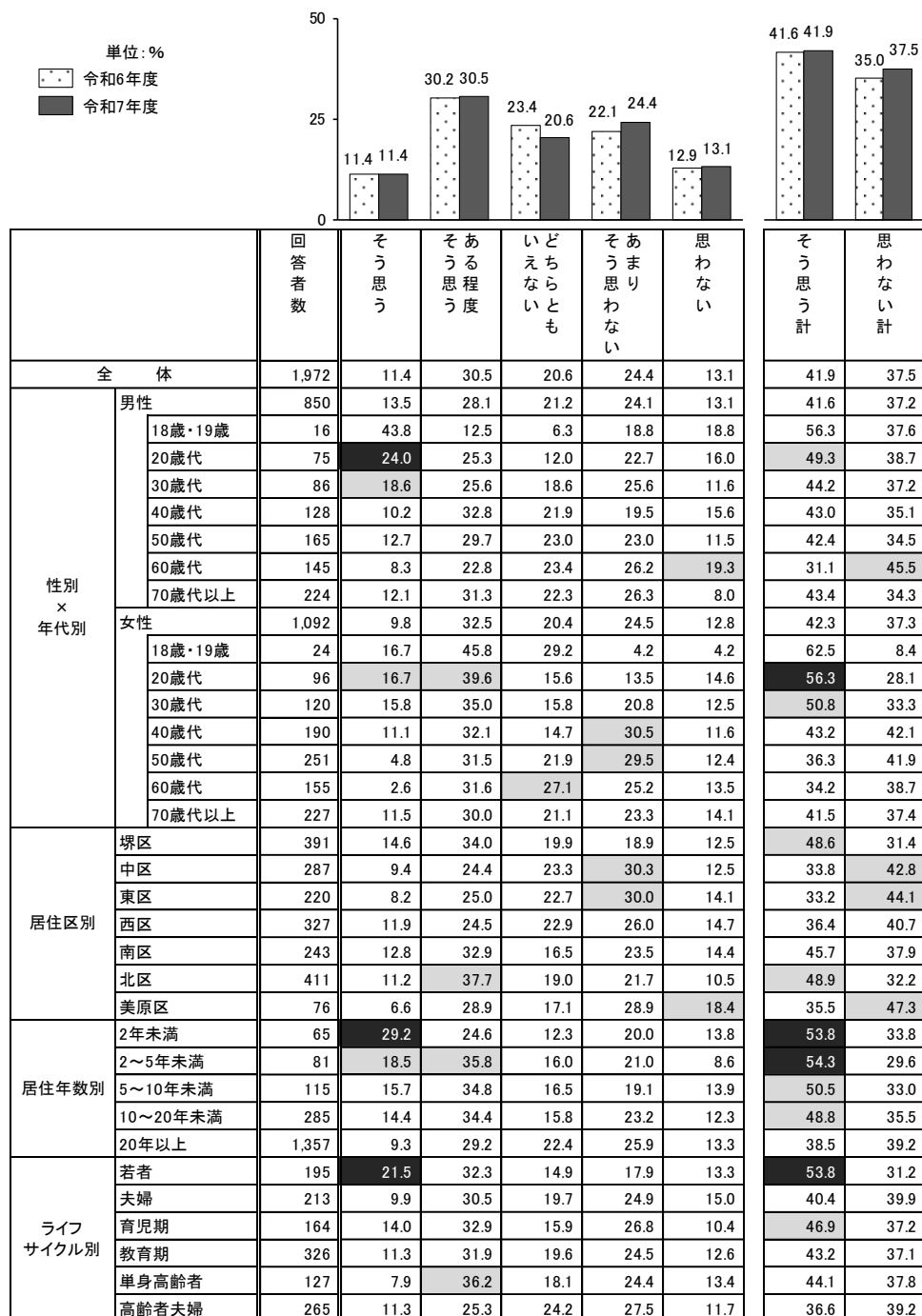
問 8 自転車を利用する方に伺います。
あなたがお住まいの地域の自転車の利用環境に満足していますか。
(ひとつだけに○)

地域の自転車の利用環境に満足しているかについて、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が41.9%となっています。

令和6年度調査と比べると、「あまりそう思わない」と「思わない」を合わせた“思わない”の割合が2.5ポイント増加しています。

性別×年代別で見ると、男性の20歳代で「そう思う」、女性の20歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。

居住区別で見ると、“そう思う”の割合は、堺区と北区で48%台と高くなっています。



問9 前問で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」「思わない」を選んだ方に伺います。

あなたがお住まいの地域の自転車利用環境について、次の項目のうち、満足していないものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

地域の自転車の利用環境に満足していないものは、「道路の走りやすさ」が79.7%で最も高く、次いで「自転車利用者の交通ルールの順守度」の割合が47.3%、「駅前駐輪場の利便性」の割合が37.6%となっています。

令和6年度調査と比べると、「道路の走りやすさ」の割合が3.4ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男性の30歳代で「シェアサイクルの利用しやすさ」、男性の70歳代以上で「自転車利用者の交通ルールの順守度」、女性の60歳代で「道路の走りやすさ」の割合が、全体と比べて10ポイント以上高くなっています。

居住区別でみると、美原区で「自転車を楽しむ機会の充実度」の割合が全体と比べて10ポイント以上高くなっています。



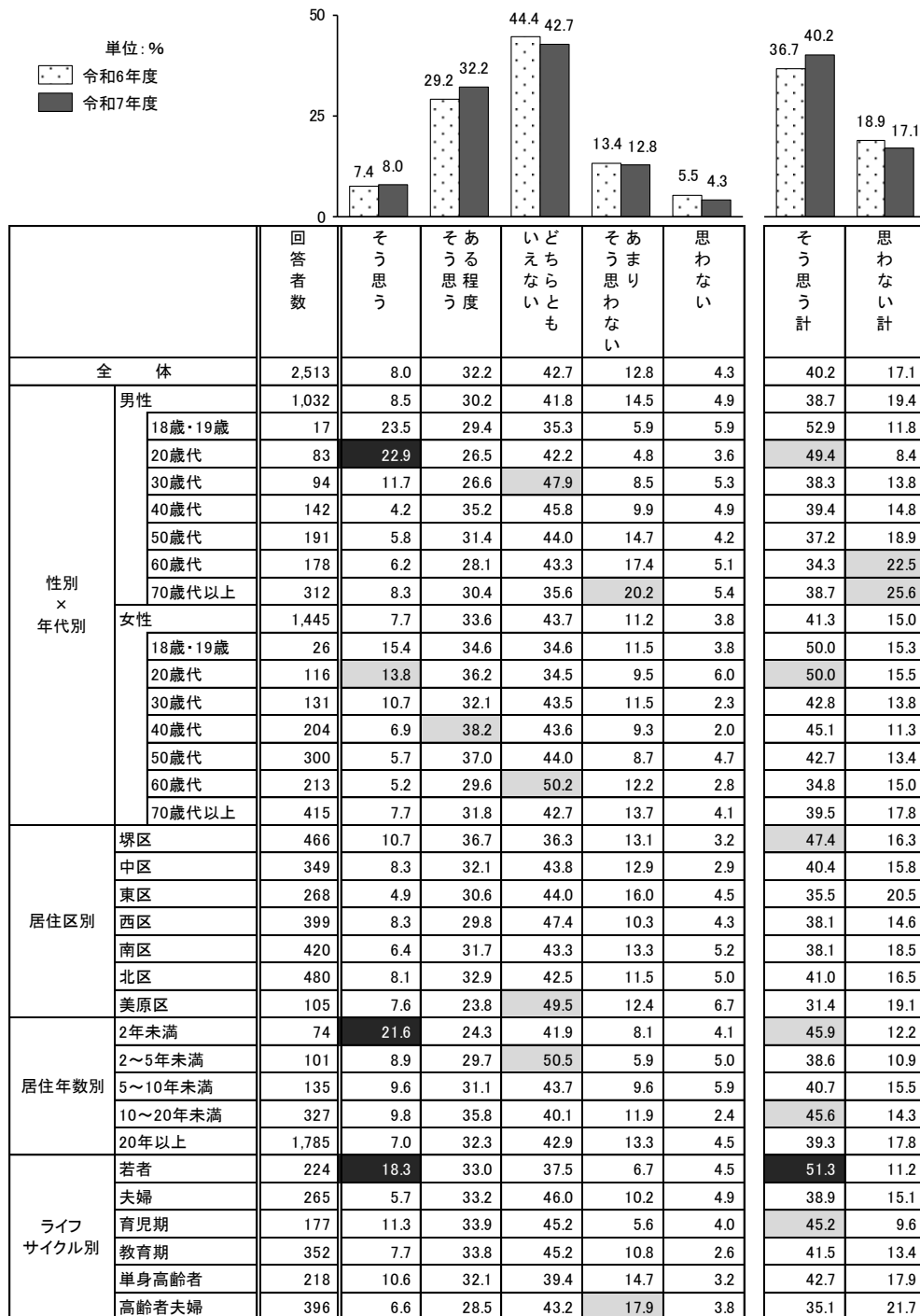
問 10 堺市は文化・芸術活動をしやすい都市だと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市は文化・芸術活動をしやすい都市だと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が40.2%となっています。

令和6年度調査と比べると、“そう思う”の割合が3.5ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男女とも20歳代で“そう思う”の割合が約5割と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、堺区で47.4%と最も高く、美原区で31.4%と最も低くなっています。



問 11 文化芸術（コンサートやフェスなどの音楽イベント、美術展や写真展などのアートイベント、演劇、ダンス、映画、歴史的な文化財、伝統芸能等）の鑑賞や文化芸術活動（創作や出演、習い事、祭への参加や茶の湯体験等）をしましたか。（概ね1年以内）（ひとつだけに○）

文化芸術の鑑賞や文化芸術活動を概ね1年以内にしたかについては、「どちらもしなかった」の割合が51.4%と最も高く、次いで「鑑賞のみをした」の割合が34.3%となっています。

性別×年代別でみると、女性の50歳代で「鑑賞のみをした」の割合が46.7%と高くなっています。一方、男性の70歳代以上では「どちらもしなかった」の割合が66.1%と高くなっています。

居住区別にみると、美原区で「どちらもしなかった」の割合が60.6%と高くなっています。

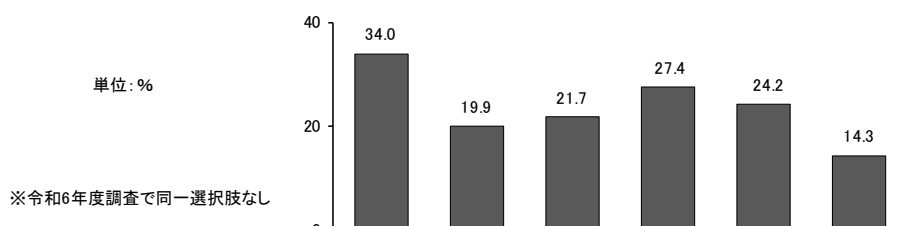


問 12 前問で「どちらもしなかった」を選んだ方に伺います。
その選択肢を選んだ理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

文化芸術の鑑賞や文化芸術活動をしなかった理由は、「興味のある公演やイベント等がないから」の割合が 34.0%で最も高く、次いで「仕事や学業、子育て、介護等で時間がないから」の割合が 27.4%、「お金（観覧料や施設使用料等）がかかるから」の割合が 24.2%となっています。

性別×年代別でみると、男性の 20～30 歳代と 50 歳代、女性の 30 歳代で「興味のある公演やイベント等がないから」、男性の 30～40 歳代と女性の 20～60 歳代で「仕事や学業、子育て、介護等で時間がないから」、女性の 70 歳代以上で「身近な場所で公演やイベント等がないから」の割合が、全体と比べて 10 ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別でみると、「仕事や学業、子育て、介護等で時間がないから」の割合は、育児期で 64.0%、教育期で 53.5%と高くなっています。



		回答者数	興味のある公演等がないから	身近な場所での公演等がないから	公演やイベントの情報が入手できないから	仕事や学業、子育て、介護等で時間がないから	施設使用料や観覧料等がかかるから	その他
全体		1,279	34.0	19.9	21.7	27.4	24.2	14.3
性別 × 年代別	男性	594	39.4	18.9	21.7	23.7	25.6	12.6
	18歳・19歳	6	50.0	-	50.0	16.7	50.0	-
	20歳代	38	50.0	13.2	23.7	21.1	26.3	7.9
	30歳代	55	50.9	16.4	12.7	38.2	30.9	5.5
	40歳代	81	42.0	17.3	18.5	48.1	28.4	3.7
	50歳代	106	49.1	12.3	20.8	32.1	18.9	11.3
	60歳代	98	37.8	19.4	25.5	20.4	31.6	12.2
	70歳代以上	198	27.3	25.8	23.2	8.1	22.2	19.2
	女性	666	29.4	20.7	21.8	31.4	23.0	15.2
	18歳・19歳	5	80.0	40.0	-	20.0	-	20.0
20歳代	46	37.0	17.4	28.3	41.3	15.2	17.4	
30歳代	63	47.6	22.2	20.6	50.8	17.5	3.2	
40歳代	80	33.8	7.5	13.8	55.0	23.8	2.5	
50歳代	119	32.8	13.4	18.5	42.9	29.4	8.4	
60歳代	99	25.3	18.2	16.2	39.4	27.3	14.1	
70歳代以上	231	19.9	30.3	26.8	7.8	20.3	26.4	
居住区別	堺区	222	34.7	16.7	21.6	26.1	24.8	16.7
	中区	178	30.3	19.7	19.7	29.2	30.3	15.2
	東区	145	37.2	18.6	22.1	26.2	28.3	9.7
	西区	213	34.7	19.2	23.9	26.3	24.4	15.5
	南区	209	30.1	23.9	23.9	25.4	23.9	12.9
	北区	235	37.9	19.6	20.4	31.1	21.3	11.5
	美原区	62	35.5	25.8	16.1	29.0	8.1	21.0
居住年数別	2年未満	46	32.6	13.0	23.9	30.4	26.1	15.2
	2～5年未満	52	40.4	19.2	30.8	34.6	23.1	13.5
	5～10年未満	74	40.5	12.2	14.9	39.2	24.3	6.8
	10～20年未満	137	35.0	13.1	21.2	40.9	27.0	7.3
	20年以上	916	33.5	21.6	21.7	23.9	24.3	15.5
ライフサイクル別	若者	84	44.0	17.9	25.0	32.1	22.6	13.1
	夫婦	131	45.0	14.5	18.3	26.0	20.6	6.1
	育児期	89	36.0	12.4	14.6	64.0	19.1	2.2
	教育期	159	42.8	15.7	18.2	53.5	23.3	1.9
	単身高齢者	135	27.4	23.7	23.7	11.1	22.2	20.0
	高齢者夫婦	233	26.2	32.6	25.8	12.0	20.6	18.9

問 13 概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れましたか。
(ひとつだけに○)

※都心エリアとは、堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリアであり、さかい利晶の杜や大浜公園などの施設や店舗なども含みます。

概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリア（堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリア）を訪れたかについては、「訪れた」の割合が 62.6%、「訪れていない」の割合が 37.4%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、「訪れた」の割合が 3.0 ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、「訪れた」の割合は、男女とも 70 歳代以上で 5 割弱と低くなっています。

居住区別でみると、「訪れた」の割合は、堺区で 78.4%と最も高くなっており、南区で 49.5%と低くなっています。

ライフサイクル別でみると、「訪れた」の割合は、単身高齢者、高齢者夫婦では約 5 割と低くなっていますが、その他の層ではいずれも 7 割前後となっています。



問 14 前問で「訪れた」を選んだ方に伺います。
次のどのような目的で訪れましたか。(あてはまるものすべてに○)

概ね6か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れた人の目的は、「買物・食事」の割合が80.0%と最も高く、次いで「娯楽・レジャー・催事」の割合が37.0%、「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が31.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、「娯楽・レジャー・催事」の割合が6.7ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男性の30～40歳代で「娯楽・レジャー・催事」の割合が約5割と高く、女性の30歳代でも47.7%と全体と比べて10ポイント以上高くなっています。男性の70歳代以上では、「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が52.3%と高くなっています。

居住区別でみると、堺区で「公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用」の割合が50.7%と、他区と比べて高くなっています。



問 15 問 13 で「訪れた」を選んだ方に伺います。
都心エリアでの平均滞在時間は、どのくらいでしたか。(ひとつだけに○)

概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れた人の平均滞在時間は「1 時間～2 時間程度」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「3 時間～5 時間程度」の割合が 32.9%、「1 時間以内」の割合が 14.8%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、「3 時間～5 時間程度」の割合が 2.9 ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、女性の 20 歳代で「3 時間～5 時間程度」の割合が 42.7%と高くなっています。

居住区別でみると、美原区で「3 時間～5 時間程度」の割合が 43.6%と、他区と比べて高くなっています。



**問 16 現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方に伺います。
その理由はなぜですか。（あてはまるものすべてに○）**

現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方の理由は、「高齢のため」の割合が 67.3%と最も高く、次いで「病気やけがのため」の割合が 17.7%、「配偶者の収入や蓄えなどで、仕事をしなくても生活ができるため」の割合が 16.2%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、「高齢のため」の割合が 2.8 ポイント減少しています。

性別×年代別でみると、女性の 30 歳代では「育児や介護などで家を離れられないため」の割合が 71.1%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、「高齢のため」の割合は、単身高齢者と高齢者夫婦で約 9 割と高く、「育児や介護などで家を離れられないため」の割合は、育児期で 89.1%、教育期で 43.9%と高くなっています。また、夫婦では「配偶者の収入や蓄えなどで、仕事をしなくても生活ができるため」「仕事をするに不安があるため」が 3 割台と高くなっています。



問 17 堺市内で採れた食材を、選んで食べていますか。(概ね6か月以内)
(ひとつだけに○)

堺市内で採れた食材を、選んで食べているか(概ね6か月以内)については、「食べていない」の割合が41.6%と最も高く、次いで「時々食べている」の割合が39.1%、「月に数回食べている」の割合が10.1%、「概ね毎週食べている」の割合が9.2%となっています。「食べていない」を除いた“食べている”の割合は58.4%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、女性の60歳代以上で“食べている”の割合が7割を超えている一方、男性の30歳代と50歳代、女性の30歳代では「食べていない」の割合が6割を超えています。

居住区別でみると、南区で“食べている”の割合が68.7%と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、“食べている”の割合は、高齢者夫婦で69.7%と最も高く、若者で47.7%と最も低くなっています。



問 18 前問で「時々食べている」「食べていない」を選んだ方に伺います。
 どうすれば、今よりも市内で採れた食材を食べようと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

堺市内で採れた食材を、選んで食べているか(概ね6か月以内)について、「時々食べている」「食べていない」を選んだ方が、どうすれば今よりも市内で採れた食材を食べようと思うかについて、「もっと「堺産」であることが分かりやすければ」の割合が62.9%と最も高く、次いで「もっと購入できる場所が増えれば」の割合が51.5%、「もっと安ければ」の割合が36.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、「もっと「堺産」であることが分かりやすければ」の割合が3.7ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男女とも20歳代で「もっと安ければ」の割合が約5割と高くなっています。また、女性の50～60歳代で「もっと購入できる場所が増えれば」の割合が6割台と高くなっています。



問 19 あなたは「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っていますか。
(ひとつだけに○)

「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っているかについては、「どちらも知っている」の割合が92.2%と最も高くなっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、「どちらも知っている」の割合は男女とも70歳代以上では8割半ばとなっていますが、その他の年代ではいずれも9割以上となっています。



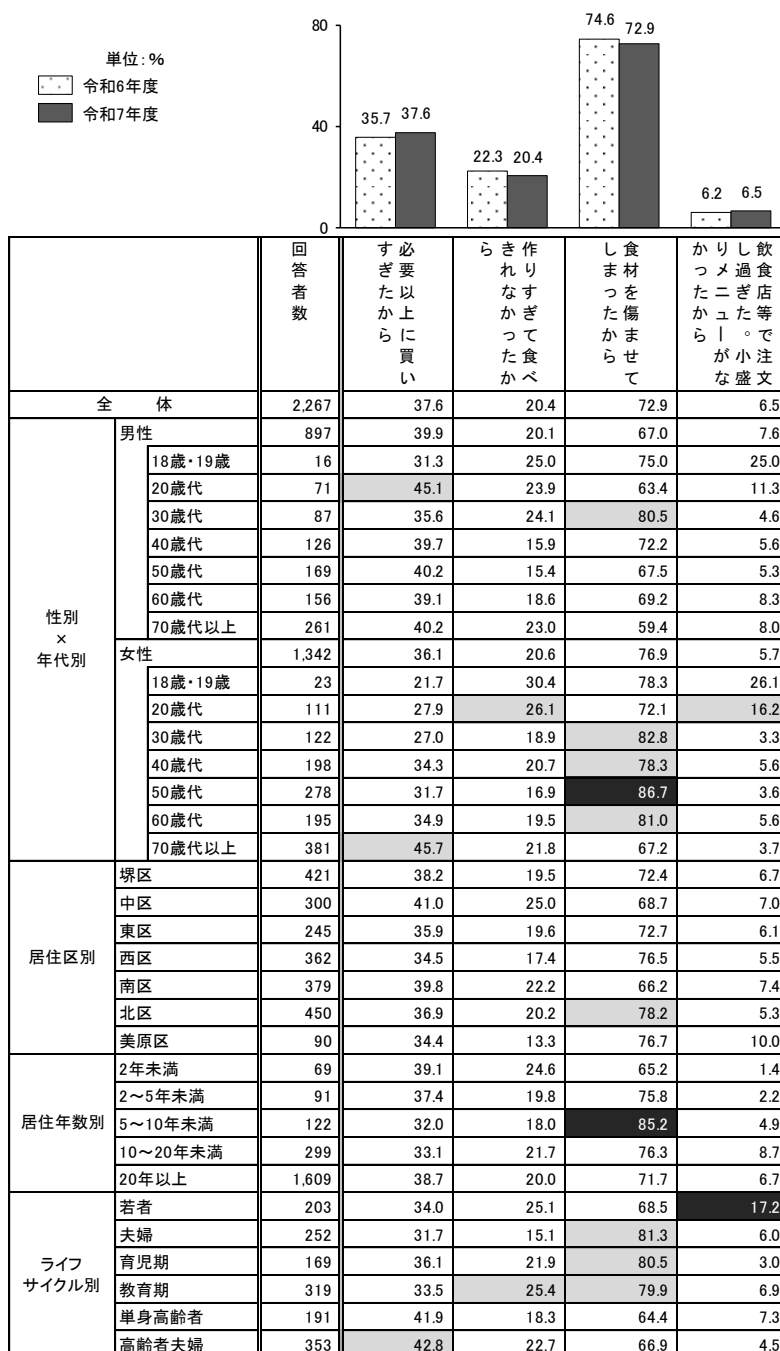
問 20 あなたはどのような理由で「食品ロス」を発生させたことがありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

※食品ロスとは、食べ残し、賞味期限切れ等の理由により食べられるのに捨てられている食品のことです。

どのような理由で「食品ロス」を発生させたことがあるかについては、「食材を傷ませてしまったから」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「必要以上に買いすぎたから」の割合が 37.6%、「作りすぎて食べきれなかったから」の割合が 20.4%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、女性の 50 歳代で「食材を傷ませてしまったから」の割合が 86.7%と高くなっています。また、男性の 20 歳代と女性の 70 歳代以上で「必要以上に買いすぎたから」の割合が 4 割半ばと高くなっています。



問 21 ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(ひとつだけに○)

ごみの減量やリサイクルに取り組んでいるかについては、「ごみの分別などルールを守っている」の割合が68.3%と最も高く、次いで「積極的に取り組んでいる」の割合が18.1%となっています。「あまり取り組んでいない」と「取り組んでいない」を合わせた“取り組んでいない”の割合は13.6%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、“取り組んでいない”の割合は、女性の30歳代で24.4%と高くなっています。

居住区別にみると、美原区で“取り組んでいない”の割合が19.6%と、他区に比べて高くなっています。



問 22 戸建て住宅の持ち家にお住まいの方に伺います。
 あなたがお住まいの住宅では、太陽光発電を導入していますか。
 (ひとつだけに○)

住宅で太陽光発電を導入しているかについては、「導入している」の割合が 12.9%、「導入していない」の割合が 87.1%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、男性の 30～40 歳代で「導入している」の割合が 2 割半ばと高くなっています。

居住年数別でみると、2～5 年未満の層と 10～20 年未満の層で「導入している」の割合が 2 割強と高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期、教育期で「導入している」の割合が 2 割台と高くなっています。

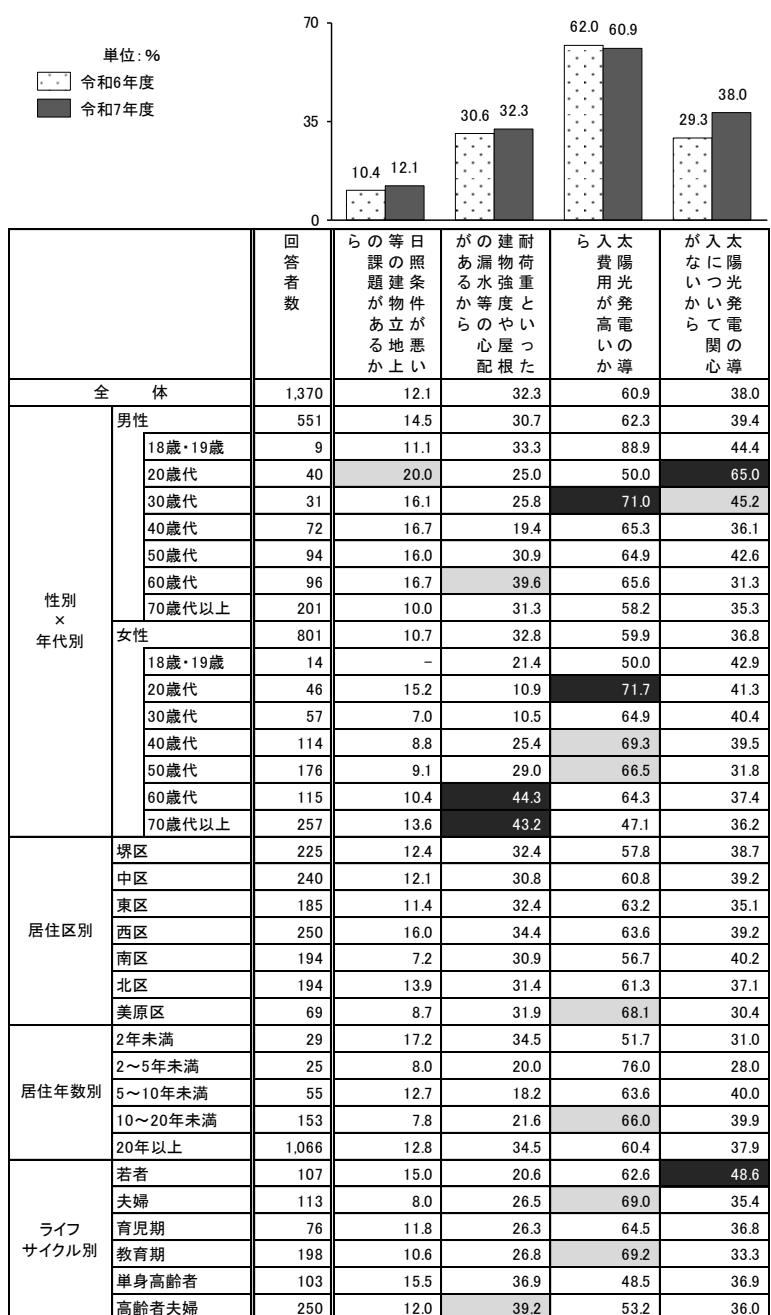


問 23 前問で「導入していない」を選んだ方に伺います。
導入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)

住宅で太陽光発電を導入しているかについて、「導入していない」理由は、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合が60.9%と最も高く、次いで「太陽光発電の導入について関心がないから」の割合が38.0%、「耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから」の割合が32.3%となっています。

令和6年度調査と比べると、「太陽光発電の導入について関心がないから」の割合が8.7ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、「太陽光発電の導入費用が高いから」の割合は、男性の30歳代と女性の20歳代で7割強と高く、「太陽光発電の導入について関心がないから」の割合は、男性の20歳代で65.0%と高くなっています。



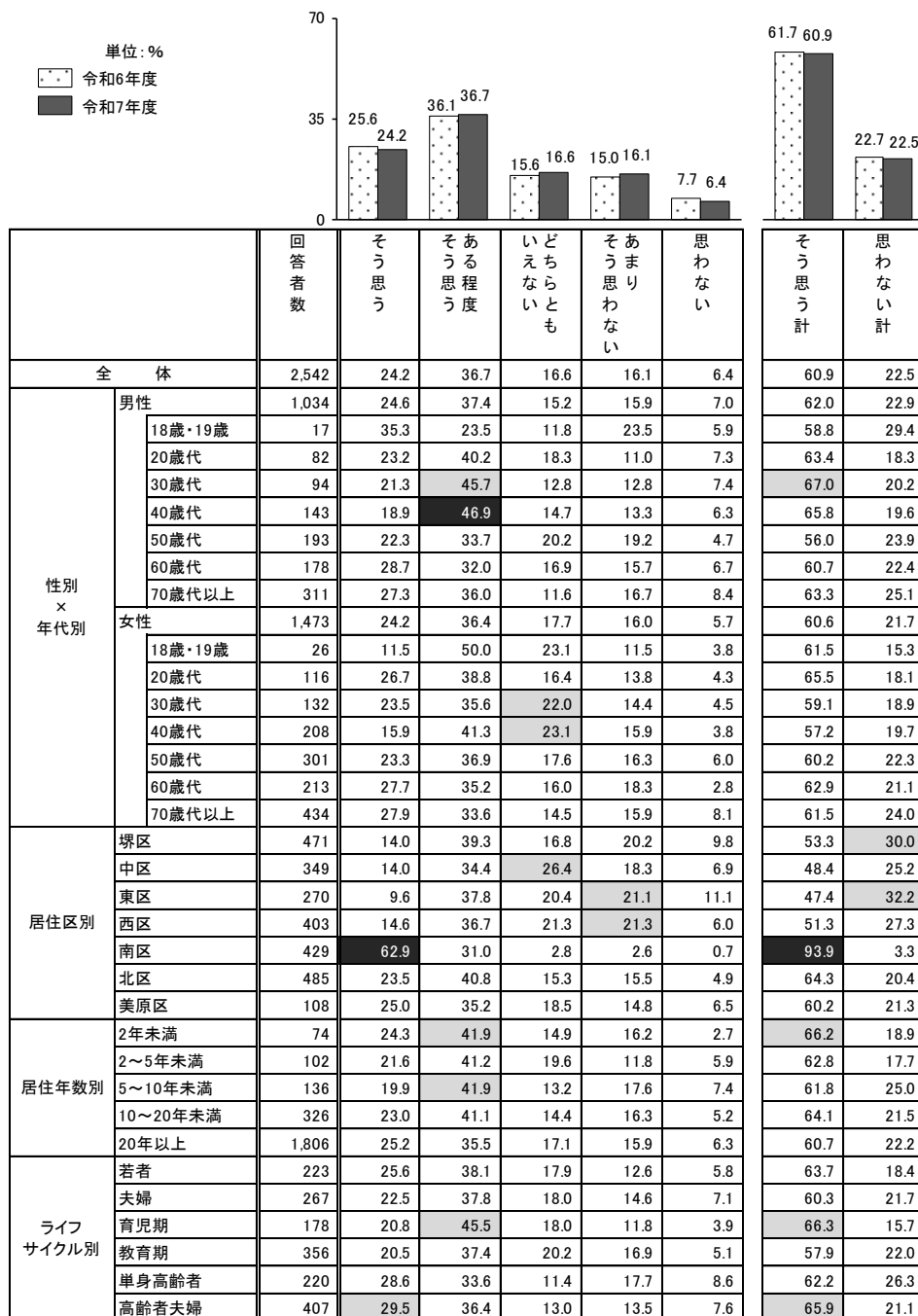
問 24 あなたの住まいの地域は緑豊かだと思いますか。(ひとつだけに○)
 ※緑とは森、農地、公園、街路樹などです。

住まいの地域が緑豊かだと思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が60.9%となっています。

令和6年度調査と比べると、あまり変化はみられません。

性別×年代別でみると、男性の30歳代で“そう思う”の割合が67.0%と高くなっています。

居住区別でみると、“そう思う”の割合は、南区で93.9%と高くなっており、一方、中区と東区では5割未満と低くなっています。



問 25 利用者に最適な情報・サービスをお届けする「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」やペダルを漕がずに電力で走行する「電動サイクル」を必要な時だけ借りられるサービスなど、先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っていますか。(ひとつだけに○)

先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っているかについては、「知っている」の割合が14.3%、「知らない」の割合が85.7%となっています。

令和6年度調査と比べると、質問文がやや異なりますが、「知っている」の割合は3.7ポイント減少しています。

性別×年代別でみると、「知っている」の割合は、男性の20歳代と女性の30歳代で2割強と高くなっています。

居住区別でみると、「知っている」の割合は、南区で22.5%と高くなっています。



※令和6年度は質問文が「時刻表や運行経路がない予約型乗合バスである「AI オンデマンドバス」や

利用者に必要な情報・サービスを最適にお届けする「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」など、先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っていますか。」

問 26 前問で「知っている」を選んだ方に伺います。
 スマートシティの取組により生活は便利になると思いますか。
 (ひとつだけに○)

「知っている」を選んだ方が、スマートシティの取組により生活は便利になると思うかについては、「そう思う」と「ある程度そう思う」を合わせた“そう思う”の割合が 68.0%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、“そう思う”の割合は、3.9 ポイント増加しています。

性別×年代別でみると、男性の 20～30 歳代と女性の 30 歳代で“そう思う”の割合が 8 割を超えています。

ライフサイクル別でみると、育児期で“そう思う”の割合が 81.4%と高くなっています。



問 27 my door OSAKA（マイド・ア・おおさか）を知っているが、利用登録していない方に伺います。
 利用登録していない理由をお選びください。（ひとつだけに○）

my door OSAKA（マイド・ア・おおさか）を知っているが、利用登録していない方が、利用登録していない理由については、「スマートフォンやパソコンの操作が苦手だから」の割合が 21.5%で最も高く、次いで「その他」の割合が 21.3%、「利用するメリットが分からないから」の割合が 18.8%となっています。

性別×年代別で見ると、男性の 70 歳代以上、女性の 60 歳代以上で「スマートフォンやパソコンの操作が苦手だから」が 3 割以上と高くなっています。女性の 40 歳代では「利用したいサービスがないから」の割合が 35.9%と高くなっています。

ライフサイクル別にみると、若者では「利用したいサービスがないから」「その他」、育児期では「利用するメリットが分からないから」、単身高齢者、高齢者夫婦では「スマートフォンやパソコンの操作が苦手だから」が 3 割以上と高くなっています。



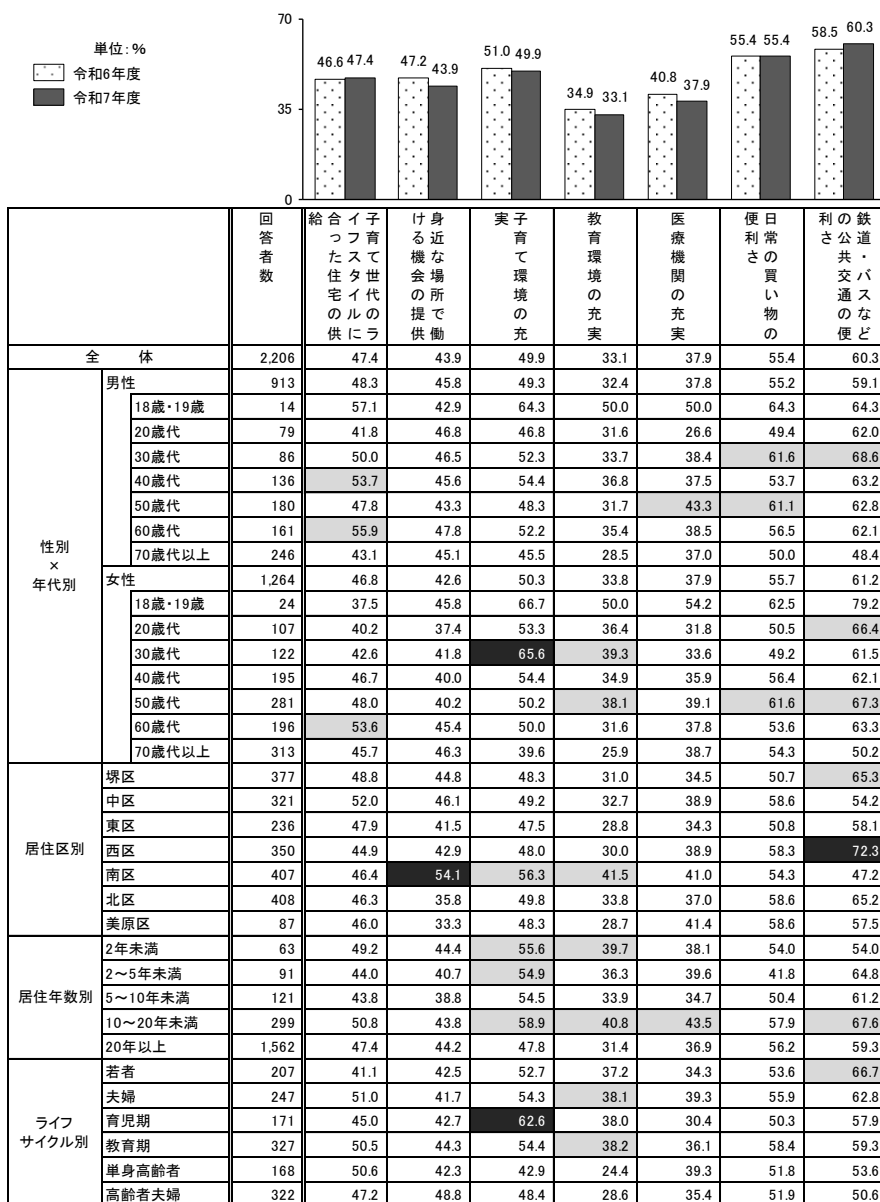
問 28 泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思うかについては、「鉄道・バスなどの公共交通の便利さ」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「日常の買い物の便利さ」の割合が 55.4%、「子育て環境の充実」の割合が 49.9%となっています。

令和 6 年度調査と比べると、「身近な場所で働ける機会の提供」の割合が 3.3 ポイント、「医療機関の充実」の割合が 2.9 ポイント減少しています。

性別×年代別でみると、女性の 30 歳代で「子育て環境の充実」の割合が全体と比べて 10 ポイント以上高くなっています。

ライフサイクル別でみると、育児期では「子育て環境の充実」の割合が全体と比べて 10 ポイント以上高くなっています。



D 転入、転出について

問1 堺市への転入や転出について、あてはまるものをお選びください。
(ひとつだけに○)

堺市への転入や転出については、「どれもあてはまらない（生まれてから堺市居住も含む）」の割合が39.0%と最も高く、次いで「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が33.8%、「希望して堺市に転入した」の割合が22.6%となっています。

令和6年度調査と比べると、「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が2.3ポイント減少しています。

居住年数別で見ると、10年未満の層では、「希望して堺市に転入した」の割合が3割半ば前後、「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が約4割半ばと高くなっています。

堺市居住前の居住地別で見ると、南河内地域、泉州地域で「希望して堺市に転入した」の割合が約3割半ばと高く、北大阪地域、東部大阪地域、その他近畿圏で「希望してはいないが、事情により堺市に転入した」の割合が5割強と高くなっています。



※定住意向別

「定住意向あり層」はA問1で「そう思う」または「ある程度そう思う」と回答した人、「定住意向なし層」はA問1で「どちらともいえない」「あまりそう思わない」または「思わない」と回答した人です。

※住居形態別

「持ち家」は、E問7で「持ち家（一戸建て）」「持ち家（マンション）」と回答した人、「賃貸・社宅・寮」はE問7で「公的賃貸住宅」「民間賃貸住宅」「社宅・寮」と回答した人です。

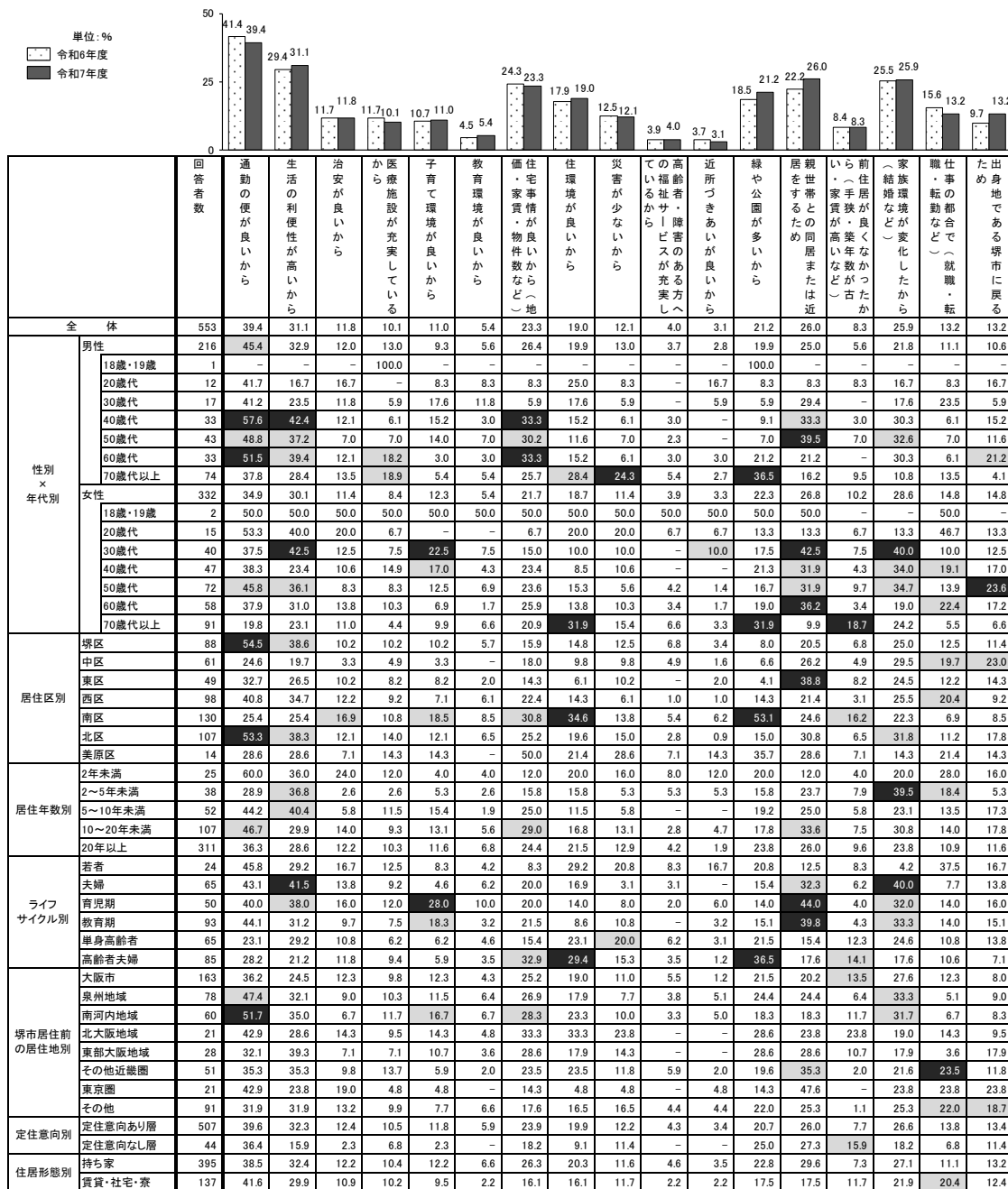
問2 問1で「希望して堺市に転入した」を選んだ方に伺います。
堺市内へ転入を希望したのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

堺市への転入や転出について、「希望して堺市に転入した」理由は、「通勤の便が良いから」の割合が39.4%と最も高く、次いで「生活の利便性が高いから」の割合が31.1%、「親世帯との同居または近居をするため」の割合が26.0%となっています。

令和6年度調査と比べると、「親世帯との同居または近居をするため」の割合が3.8ポイント増加しています。

居住区別でみると、堺区と北区で「通勤の便が良いから」、南区で「緑や公園が多いから」の割合が、全体と比べて10ポイント以上高く、かつ5割以上となっています。

堺市居住前の居住地別でみると、南河内地域で「通勤の便が良いから」、その他近畿圏で「仕事の都合で(就職・転職・転勤など)」の割合が、全体と比べて10ポイント以上高くなっています。



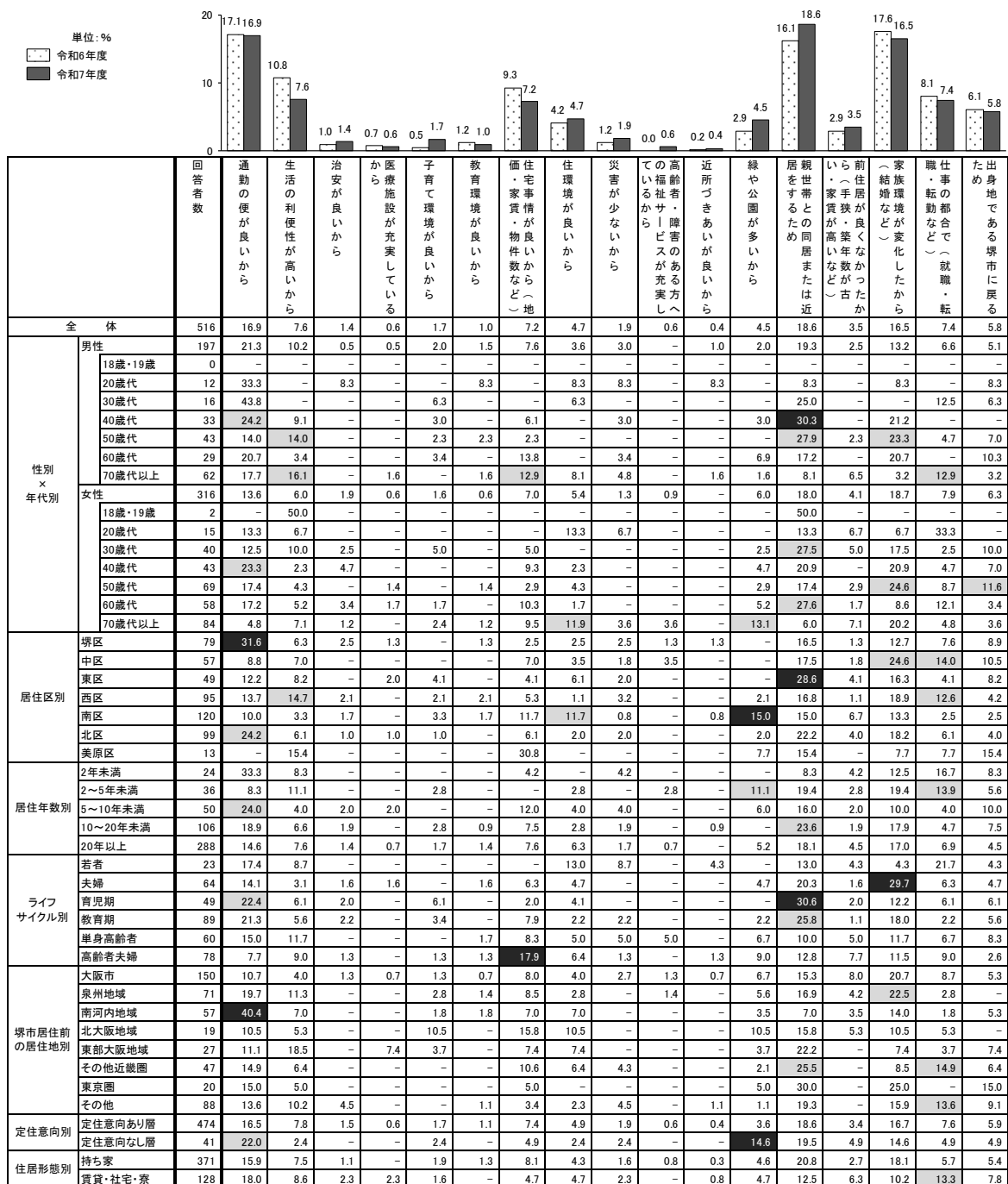
問3 前問でお答えいただいた堺市に転入を希望した理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。

堺市に転入を希望した最も大きな理由については、「親世帯との同居または近居をするため」の割合が18.6%と最も高く、次いで「通勤の便が良いから」の割合が16.9%、「家族環境が変化したから（結婚など）」の割合が16.5%となっています。

令和6年度調査と比べると、「生活の利便性が高いから」の割合が3.2ポイント減少しています。

性別×年代別でみると、男性の40歳代で「親世帯との同居または近居をするため」の割合が全体と比べて10ポイント以上高くなっています。

居住区別にみると、堺区で「通勤の便が良いから」、東区で「親世帯との同居または近居をするため」の割合が、全体と比べて10ポイント以上高く、3割前後となっています。

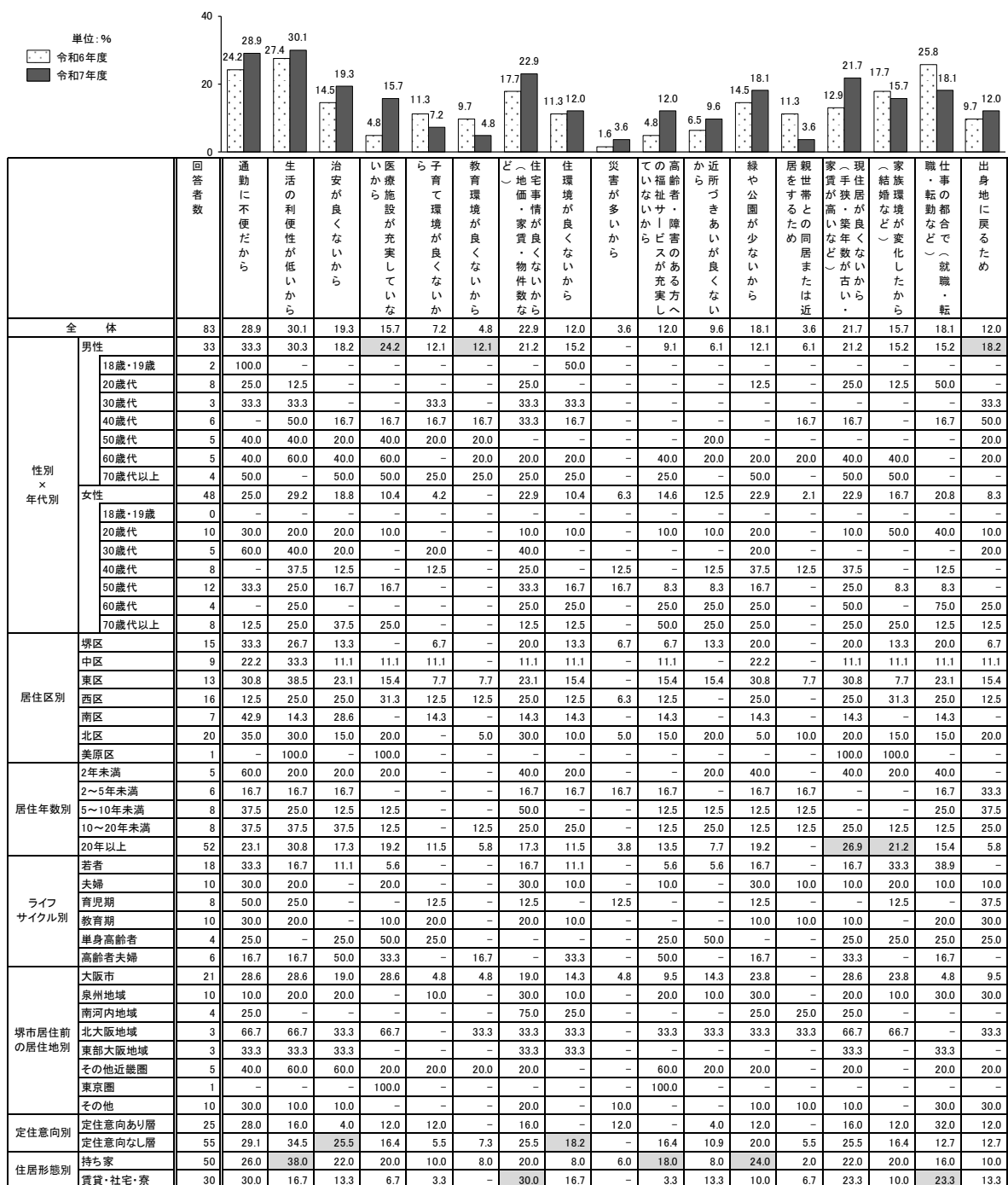


問4 問1で「希望して堺市外へ転出の予定がある」または「今後できれば堺市外へ転出したい」を選んだ方に伺います。

堺市外への転出を希望するのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

堺市外への転出を希望する理由は、「生活の利便性が低いから」の割合が30.1%と最も高く、次いで「通勤に不便だから」の割合が28.9%、「住宅事情が良くないから(地価・家賃・物件数など)」の割合が22.9%となっています。

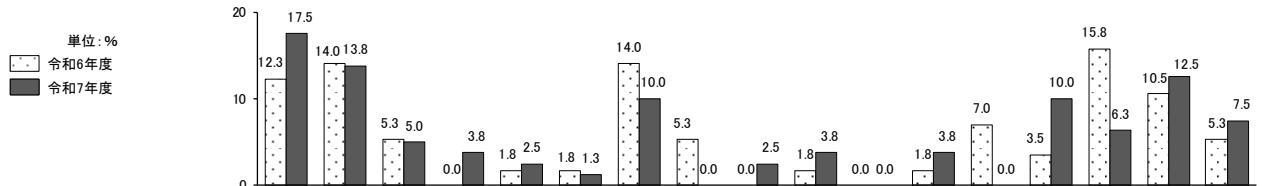
令和6年度調査と比べると、「医療施設が充実していないから」の割合が10.9ポイント、「現住居が良くないから(手狭・築年数が古い・家賃が高いなど)」の割合が8.8ポイント、「高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実していないから」の割合が7.2ポイント増加しています。一方、「親世帯との同居または近居をするため」「仕事の都合で(就職・転職・転勤など)」の割合は、ともに7.7ポイント減少しています。



問5 前問でお聞かせいただいた堺市外への転出を希望する理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。

堺市外への転出を希望する最も大きな理由については、「通勤に不便だから」の割合が17.5%と最も高く、次いで「生活の利便性が低いから」の割合が13.8%、「仕事の都合で（就職・転職・転勤など）」の割合が12.5%となっています。

令和6年度調査と比べると、「現住居が良くないから（手狭・築年数が古い・家賃が高いなど）」の割合が6.5ポイント増加し、「家族環境が変化したから（結婚など）」の割合が9.5ポイント、「親世帯との同居または近居をするため」の割合が7.0ポイント減少しています。



		回答者数	通勤に不便だから	生活の利便性が低いから	治安が良くないから	いから	医療施設が充実していないから	子育て環境が良くないから	教育環境が良くないから	住宅事情が良くないから（地価・家賃・物件数など）	住環境が良くないから	災害が多いから	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実していないから	近所づきあいが良くないから	緑や公園が少ないから	親世帯との同居または近居をするため	家（手狭・築年数が古い・家賃が高いなど）	家族環境が変化したから（結婚など）	仕事の都合で（就職・転職・転勤など）	出身地に帰るため
全体		80	17.5	13.8	5.0	3.8	2.5	1.3	10.0	-	2.5	3.8	-	3.8	-	10.0	6.3	12.5	7.5	
性別 × 年代別	男性	32	21.9	18.8	-	3.1	6.3	3.1	9.4	-	-	-	3.1	-	-	-	9.4	3.1	9.4	12.5
	18歳・19歳	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	8	25.0	12.5	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	12.5	-	37.5	-
	30歳代	3	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	40歳代	5	-	40.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
	50歳代	5	40.0	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0
	60歳代	5	20.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-
	70歳代以上	4	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	50.0	-	-	-
	女性	47	14.9	10.6	8.5	4.3	-	-	8.5	-	4.3	4.3	-	6.4	-	10.6	8.5	14.9	4.3	-
	18歳・19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20歳代	10	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	-	-	-	30.0	30.0	-	
30歳代	5	60.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
40歳代	8	-	25.0	12.5	-	-	-	25.0	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-	12.5	-	
50歳代	12	16.7	16.7	-	8.3	-	-	8.3	-	8.3	-	-	8.3	-	16.7	8.3	8.3	-	-	
60歳代	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	50.0	25.0	-	
70歳代以上	7	-	-	28.6	14.3	-	-	-	-	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	14.3	-	14.3	
居住区別	堺区	15	26.7	13.3	6.7	-	6.7	-	6.7	-	6.7	6.7	-	6.7	-	6.7	-	13.3	-	
	中区	9	11.1	22.2	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1	-	11.1	11.1	11.1	11.1	
	東区	13	15.4	7.7	7.7	-	-	7.7	15.4	-	-	-	-	7.7	-	7.7	7.7	15.4	7.7	
	西区	14	-	7.1	-	7.1	7.1	-	7.1	-	7.1	-	-	7.1	-	21.4	7.1	14.3	14.3	
	南区	7	42.9	14.3	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-
	北区	20	20.0	15.0	-	10.0	-	-	15.0	-	-	-	-	-	-	10.0	10.0	10.0	10.0	
	美原区	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
居住年数別	2年未満	5	20.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	20.0	-	
	2～5年未満	6	16.7	-	16.7	-	-	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7	16.7	
	5～10年未満	8	25.0	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5	
	10～20年未満	8	25.0	25.0	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	-	-	12.5	12.5	12.5	
	20年以上	50	14.0	14.0	4.0	6.0	4.0	2.0	6.0	-	2.0	6.0	-	6.0	-	14.0	6.0	10.0	6.0	
ライフサイクル別	若者	18	22.2	5.6	5.6	-	-	-	5.6	-	5.6	-	5.6	-	5.6	16.7	27.8	-	-	
	夫婦	10	30.0	10.0	-	10.0	-	-	30.0	-	-	-	-	-	-	10.0	10.0	-	-	
	育児期	8	37.5	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	-	-	12.5	-	25.0	
	教育期	10	20.0	20.0	-	-	10.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	10.0	-	-	20.0	
	単身高齢者	4	-	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	
高齢者夫婦	6	-	-	16.7	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	16.7	-		
堺市居住前の居住地別	大阪市	21	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8	-	4.8	-	4.8	4.8	-	9.5	-	19.0	14.3	4.8	4.8	
	泉州地域	9	-	11.1	11.1	-	-	-	22.2	-	-	-	-	-	-	-	11.1	-	11.1	
	南河内地域	4	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	25.0	-	-	-	
	北大阪地域	3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	
	東部大阪地域	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	33.3	-	
	その他近畿圏	5	-	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	
	東京圏	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	10	30.0	10.0	10.0	-	-	-	10.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	20.0	10.0	
定住意向別	定住意向あり層	25	20.0	4.0	-	4.0	8.0	-	4.0	-	8.0	-	-	4.0	-	8.0	4.0	28.0	8.0	
	定住意向なし層	52	17.3	15.4	7.7	3.8	-	1.9	13.5	-	5.8	-	1.9	-	11.5	7.7	5.8	7.7		
居住形態別	持ち家	48	14.6	20.8	2.1	6.3	2.1	2.1	4.2	-	4.2	6.3	-	4.2	-	8.3	8.3	10.4	6.3	
	賃貸・社宅・寮	30	20.0	3.3	10.0	-	3.3	-	20.0	-	-	-	-	3.3	-	13.3	3.3	16.7	6.7	

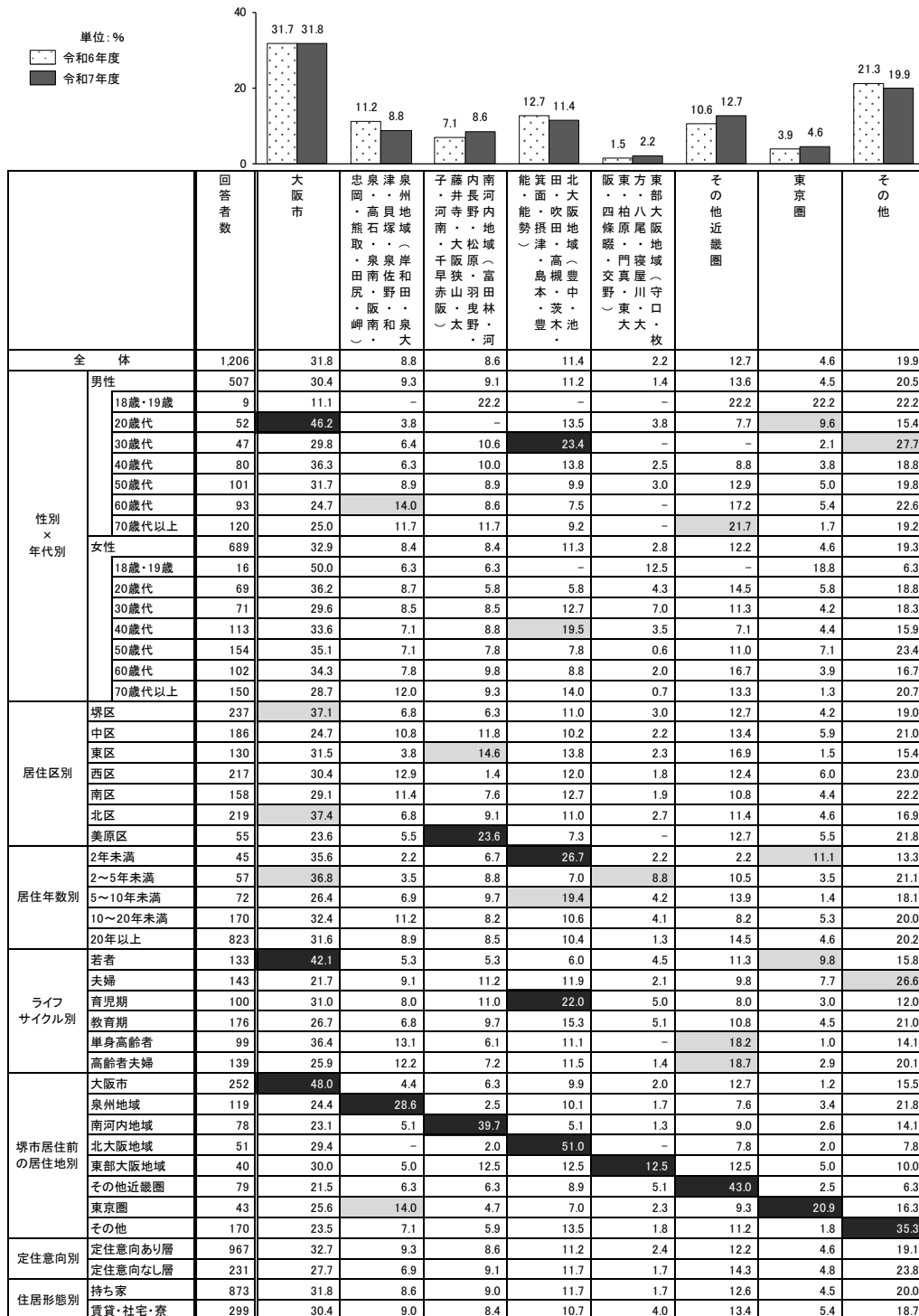
問 6 転出の予定がある方は転出予定先をお聞かせください。転出の予定がない方は、もし堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思いますか。(ひとつだけに○)

堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思うかについては、「大阪市」の割合が 31.8%と最も高くなっています。

令和 6 年度調査と比べると、「泉州地域」の割合が 2.4 ポイント減少し、「その他近畿圏」の割合が 2.1 ポイント増加しています。

居住区別でみると、美原区で「南河内地域」の割合が 23.6%と高くなっています。

堺市居住前の居住地別にみると、以前住んでいた地域がそれぞれ高い傾向にあります。



Ⅲ 調査票

令和7年度 市民意識調査

あなたの日常生活における意識や行動について伺います。

A 堺市について

(例)	これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)		
①	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 1	これからも堺市に住み続けたいですか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 2	堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思いませんか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 3	堺市は年齢や性別、国籍にかかわらず、能力を十分に発揮できる環境※が整っている都市だと思いませんか。 ※多様性を認め合う、差別のない平等な社会のこと (ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

B 安全・安心について（防災・防犯・子育て・健康・介護等）

問 1	堺市は災害に強く、安全・安心に暮らせる都市だと思いませんか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 2	地震等の災害発生に備え、ご家庭でどの程度食料・飲料水（お茶、ジュースなどを含む）を備蓄していますか。 (ひとつだけに○) ※必要な飲料水の備蓄量の目安（1日当たり）：3リットル×世帯人数		
1	7日以上備蓄している	3	備蓄はしているが、3日分はない
2	3日以上は備蓄しているが、7日分はない	4	備蓄していない

問 3	以下は、地震等の災害対策として、指定避難所である市内全ての小学校に設置している設備です。これらの設備の中で知っているものをお選びください。（あてはまるものすべてに○）
1	マンホールトイレ（下水道に直接つないで流せる水洗トイレ）
2	組立式簡易給水タンク（給水車からの飲料水を貯めておくための設備）
3	災害時給水栓（地震に強い水道管からつながっている給水蛇口）

問 4	お住まいの地域周辺で津波、洪水、内水氾濫 [*] 、土砂災害などが発生したときに備えて、被害想定区域や指定避難所を把握していますか。（ひとつだけに○） ※内水氾濫とは雨水出水のことで下水道管や側溝に雨水を流しきれず、道路や住宅地に水があふれる現象です。
1	把握している
2	把握していない

問 5	堺市は治安に関する不安が少ない都市だと思いますか。（ひとつだけに○）
1	そう思う
2	ある程度そう思う
3	どちらともいえない
4	あまりそう思わない
5	思わない

問 6	生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）に対して、あなたやあなたの家族が日頃から気にしている、または取り組んでいる防犯対策は何ですか。（あてはまるものすべてに○）
1	防犯アプリを活用する、防犯ブザーや防犯ホイッスルなどの防犯・護身用グッズを携帯するなどの対策をしている
2	暗い夜道を避ける、1人での外出や歩行中のイヤホン使用を控えるなど警戒している
3	不審な電話には、一旦電話を切って確認するなどしている
4	車や自転車を離れる際はドアや鍵の施錠を行い、貴重品を置かないようにしている

問 7	生活に身近な犯罪（子どもや女性をねらった性犯罪・特殊詐欺・車上ねらい等の自動車関連犯罪など）を減らすために、有効と考えるものはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）
1	街頭防犯カメラ・防犯灯などの設置推進
2	警察によるパトロール強化
3	地域による子ども見守り・パトロール活動など自主防犯活動の充実
4	行政や警察からの犯罪情報の積極的な発信

問 8	堺市は子育てがしやすい都市だと思いますか。（ひとつだけに○）
1	そう思う
2	ある程度そう思う
3	どちらともいえない
4	あまりそう思わない
5	思わない

問 9	前問で「3」「4」「5」を選んだ方に伺います。 その選択肢を選んだ主な理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	子育ての精神的・身体的負担を軽減するための支援が不十分だから	5	公園や歩道など子どもを安心して育てられる環境の整備が不十分だから
2	子育ての経済的負担を軽減するための支援が不十分だから	6	放課後や週末などに子どもが安心して過ごせる居場所が不足しているから
3	子育て世帯が交流や相談できる場・機会が不足しているから	7	子育て支援に関する情報が入手しにくいから
4	仕事と子育ての両立への理解や支援が不十分だから	8	その他

問 10	あなたがお住まいの地域は近所づきあいが良いと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 11	健康・介護など日常生活における困りごとについて、相談に乗ってくれたり助けてくれる人が身近にいますか。(ひとつだけに○)		
1	いる	2	いない

問 12	生活や健康等の困りごと・悩みを相談できる窓口のうち知っている相談窓口をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	各区役所の生活援護課・地域福祉課・子育て支援課・保健センター	6	地域包括支援センター
2	こころの健康センター	7	障害者基幹相談支援センター
3	ユースサポートセンター	8	子ども相談所
4	社会福祉協議会	9	その他の民間団体の相談窓口
5	生活・仕事応援センター「すてっぷ・堺」	10	この中に知っている相談窓口はない

問 13	前問で「10」を選んだ方に伺います。 生活の悩みや困りごとがあり相談したいと思った場合、どのような方法で相談窓口を探しますか。(ひとつだけに○)		
1	インターネットで検索する	4	家族や知人に聞く
2	SNS で情報を探す	5	市役所などに直接問い合わせる
3	広報誌などの紙媒体の情報を探す	6	その他

問 14	あなたはゲートキーパーについて知っていますか。(ひとつだけに○) ※ゲートキーパーとは、悩んでいる人や自殺の危険を示すサインを発している人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な相談窓口や支援につなげ、見守る人のことです。		
1	内容は知っている	3	知らない
2	名称は聞いたことがある		

問 15	堺市は、地域行事（まつり、清掃活動、交流イベント等）や防犯、防災に関する取組など、地域でのさまざまな活動が活発な都市だと思いませんか。（ひとつだけに○）		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 16	定期的に血圧や体重を測定するなど、自分自身の健康状態をチェックしていますか。（ひとつだけに○）		
1	している		
2	していない		

問 17	40 歳～74 歳の方に伺います。 あなたは特定健康診査を受診していますか。（ひとつだけに○） ※特定健康診査とは、生活習慣病の予防のため、40 歳から 74 歳までの方を対象に、メタボリックシンドロームに着目し行う健診のことで、職場の健康診断や人間ドックを含みます。		
1	受診している		
2	受診していない		

問 18	前問で「2」を選んだ方に伺います。 受診していない、最も大きな理由をお選びください。（ひとつだけに○）		
1	面倒だから	4	心配な時はいつでも医療機関を受診できるから
2	知らなかったから	5	健康状態に自信があり、必要性を感じないから
3	時間がとれなかったから	6	その他

問 19	外出する頻度はどのくらいですか。※学校、仕事、買い物、飲食、隣近所等への外出を含む（ひとつだけに○）		
1	週 5 回以上	5	月に数回
2	週 4 回	6	年に数回
3	週 2～3 回	7	外出しない
4	週 1 回		

問 20	1 日に 30 分以上の運動（日常の歩行や自転車を含む）やスポーツはどれくらい行っていますか。（ひとつだけに○）		
1	週 3 回以上	4	毎週ではないが月に数回
2	週 2 回	5	ほとんど行っていない
3	週 1 回		

問 21	前問で「5」を選んだ方に伺います。 ほとんど行っていない理由をお選びください。（あてはまるものすべてに○）		
1	面倒だから	4	場所や施設がないから
2	時間がないから	5	病気やけがをしているから
3	仲間がないから		

問 22	各種講座への参加、個人で行う学習、教育機関で行う学習、趣味やボランティアを通じた学習などの生涯学習活動に取り組んでいますか。(ひとつだけに○)		
1	概ね毎週取り組んでいる	3	あまり取り組んでいない
2	月に数回取り組んでいる	4	取り組んでいない

C 都市魅力について（文化・観光・産業・環境等）

問 1	堺市は街並みの美しさに満足できる都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 2	堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 3	概ね 1 年以内に、外国人と交流しましたか。※SNS などオンラインでの交流を含む(ひとつだけに○)		
1	した	2	していない

問 4	前問で「2」を選んだ方に伺います。 交流していない、最も大きな理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
1	興味がなから	4	時間がないから
2	交流する機会がないから	5	文化や慣習を理解しあえないと思うから
3	言葉が通じないから	6	その他

問 5	堺市は歴史文化資源を身近に感じることができる都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 6	次のうち、堺の伝統産業であることを知っているものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	刃物	4	昆布加工
2	注染・和晒	5	敷物（緞通）
3	線香	6	自転車

問 7	次の堺産品で購入したことがあるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	堺打刃物・堺刃物	4	昆布（おぼろ昆布・とろろ昆布）
2	注染・和晒（手ぬぐい・ゆかた）	5	和菓子
3	線香		

問 8	自転車を利用する方に伺います。 あなたがお住まいの地域の自転車の利用環境に満足していますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 9	前問で「3」「4」「5」を選んだ方に伺います。 あなたがお住まいの地域の自転車利用環境について、次の項目のうち、満足していないものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	自転車を楽しむ機会の充実度	4	駅前駐輪場の利便性
2	シェアサイクルの利用しやすさ	5	道路の走りやすさ
3	自転車利用者の交通ルールの順守度		

問 10	堺市は文化・芸術活動をしやすい都市だと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 11	文化芸術（コンサートやフェスなどの音楽イベント、美術展や写真展などのアートイベント、演劇、ダンス、映画、歴史的な文化財、伝統芸能等）の鑑賞や文化芸術活動（創作や出演、習い事、祭への参加や茶の湯体験等）をしましたか。(概ね 1 年以内) (ひとつだけに○)		
1	鑑賞及び活動をした	3	活動のみをした
2	鑑賞のみをした	4	どちらもしなかった

問 12	前問で「4」を選んだ方に伺います。 その選択肢を選んだ理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	興味のある公演やイベント等がないから	4	仕事や学業、子育て、介護等で時間がないから
2	身近な場所で公演やイベント等がないから	5	お金（観覧料や施設使用料等）がかかるから
3	公演やイベント等の情報が入手できない、分かりづら いから	6	その他

問 13	概ね 6 か月以内に、通勤、通学以外の目的で都心エリアを訪れましたか。(ひとつだけに○) ※都心エリアとは、堺東駅から堺駅の周辺や阪堺線沿線を含むエリアであり、さかい利晶の杜や大浜公園などの施設や店舗なども含みます。		
1	訪れた	2	訪れていない

問 14	前問で「1」を選んだ方に伺います。 次のどのような目的で訪れましたか。(あてはまるものすべてに○)		
1	買物・食事	4	観光
2	娯楽・レジャー・催事	5	公共施設（市役所、保健センター、病院等）の利用
3	文化活動・習い事等		

問 15	問 13 で「1」を選んだ方に伺います。 都心エリアでの平均滞在時間は、どのくらいでしたか。（ひとつだけに○）		
1	1 時間以内	3	3 時間～5 時間程度
2	1 時間～2 時間程度	4	6 時間以上

問 16	現在、仕事をしておらず、就職活動もしていない方に伺います。 その理由はなぜですか。（あてはまるものすべてに○）		
1	病気やけがのため	4	育児や介護などで家を離れられないため
2	高齢のため	5	自分に合う仕事が見つからなかったため
3	配偶者の収入や蓄えなどで、仕事をしなくても生活ができるため	6	仕事をすることに不安があるため

問 17	堺市内で採れた食材を、選んで食べていますか。（概ね 6 か月以内）（ひとつだけに○）		
1	概ね毎週食べている	3	時々食べている
2	月に数回食べている	4	食べていない

問 18	前問で「3」「4」を選んだ方に伺います。 どうすれば、今よりも市内で採れた食材を食べようと思いますか。（あてはまるものすべてに○）		
1	もっと購入できる場所が増えれば	4	もっと安ければ
2	もっと「堺産」であることが分かりやすければ	5	もっと種類が豊富であれば
3	もっと他産地の食材と比べて違いや良さが分かれば		

問 19	あなたは「消費期限」と「賞味期限」の意味を知っていますか。（ひとつだけに○）		
1	どちらも知っている	3	「賞味期限」は知っているが、「消費期限」は知らない
2	「消費期限」は知っているが、「賞味期限」は知らない	4	知らない

問 20	あなたはどのような理由で「食品ロス」を発生させたことがありますか。（あてはまるものすべてに○） ※食品ロスとは、食べ残し、賞味期限切れ等の理由により食べられるのに捨てられている食品のことです。		
1	必要以上に買いすぎたから	3	食材を傷ませてしまったから
2	作りすぎて食べきれなかったから	4	飲食店等で注文し過ぎた。小盛りメニューがなかったから

問 21	ごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。（ひとつだけに○）		
1	積極的に取り組んでいる	3	あまり取り組んでいない
2	ごみの分別などルールを守っている	4	取り組んでいない

問 22	戸建て住宅の持ち家にお住まいの方に伺います。 あなたがお住まいの住宅では、太陽光発電を導入していますか。（ひとつだけに○）		
1	導入している		
2	導入していない		

問 23	前問で「2」を選んだ方に伺います。 導入していない理由をお選びください。(あてはまるものすべてに○)		
1	日照条件が悪い等の建物立地上の課題があるから		
2	耐荷重といった建物強度や屋根の漏水等の心配があるから		
3	太陽光発電の導入費用が高いから		
4	太陽光発電の導入について関心がないから		

問 24	あなたのお住まいの地域は緑豊かだと思いますか。(ひとつだけに○) ※緑とは森、農地、公園、街路樹などです。		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 25	利用者に最適な情報・サービスをお届けする「my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)」やペダルを漕がずに電力で走行する「電動サイクル」を必要な時だけ借りられるサービスなど、先進技術を活用し暮らしの質の向上をめざすスマートシティの取組を知っていますか。(ひとつだけに○)		
1	知っている		
2	知らない		

問 26	前問で「1」を選んだ方に伺います。 スマートシティの取組により生活は便利になると思えますか。(ひとつだけに○)		
1	そう思う	4	あまりそう思わない
2	ある程度そう思う	5	思わない
3	どちらともいえない		

問 27	my door OSAKA (マイド・ア・おおさか)を知っているが、利用登録していない方に伺います。 利用登録していない理由をお選びください。(ひとつだけに○)		
1	利用したいサービスがないから	4	登録方法が分かりにくいから
2	利用するメリットが分からないから	5	スマートフォンやパソコンの操作が苦手だから
3	個人情報を入力することに抵抗があるから	6	その他

問 28	泉北ニュータウンにおいて、子育て世代の住民を増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)		
1	子育て世代のライフスタイルに合った住宅の供給	5	医療機関の充実
2	身近な場所で働ける機会の提供	6	日常の買い物の便利さ
3	子育て環境の充実	7	鉄道・バスなどの公共交通の便利さ
4	教育環境の充実		

D 転入、転出について

問 1 堺市への転入や転出について、あてはまるものをお選びください。(ひとつだけに○)			
1	希望して堺市に転入した	4	希望してはいないが、事情により堺市外へ転出の予定がある
2	希望してはいないが、事情により堺市に転入した	5	今後できれば堺市外へ転出したい
3	希望して堺市外へ転出の予定がある	6	どれもあてはまらない(生まれてから堺市居住も含む)

問 2 問 1 で「1」を選んだ方に伺います。 堺市内へ転入を希望したのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)			
1	通勤の便が良いから	10	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実しているから
2	生活の利便性が高いから	11	近所づきあいが良いから
3	治安が良いから	12	緑や公園が多いから
4	医療施設が充実しているから	13	親世帯との同居または近居をするため
5	子育て環境が良いから	14	前住居が良くなかったから(手狭・築年数が古い・家賃が高いなど)
6	教育環境が良いから	15	家族環境が変化したから(結婚など)
7	住宅事情が良いから(地価・家賃・物件数など)	16	仕事の都合で(就職・転職・転勤など)
8	住環境が良いから	17	出身地である堺市に戻るため
9	災害が少ないから		

問 3 前問でお答えいただいた堺市に転入を希望した理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。	

問 4 問 1 で「3」または「5」を選んだ方に伺います。 堺市外への転出を希望するのはなぜですか。(あてはまるものすべてに○)			
1	通勤に不便だから	10	高齢者・障害のある方への福祉サービスが充実していないから
2	生活の利便性が低いから	11	近所づきあいが良くないから
3	治安が良くないから	12	緑や公園が少ないから
4	医療施設が充実していないから	13	親世帯との同居または近居をするため
5	子育て環境が良くないから	14	現住居が良くないから(手狭・築年数が古い・家賃が高いなど)
6	教育環境が良くないから	15	家族環境が変化したから(結婚など)
7	住宅事情が良くないから(地価・家賃・物件数など)	16	仕事の都合で(就職・転職・転勤など)
8	住環境が良くないから	17	出身地に戻るため
9	災害が多いから		

問 5	前問でお聞かせいただいた堺市外への転出を希望する理由の中で、最も大きな理由をひとつだけ選び、その番号をご記入ください。
------------	---

問 6	転出の予定がある方は転出予定先をお聞かせください。転出の予定がない方は、もし堺市以外に住むとしたら、どこに住みたいと思いますか。(ひとつだけに○)		
1	大阪市	5	東部大阪地域（守口・枚方・八尾・寝屋川・大東・柏原・門真・東大阪・四條畷・交野）
2	泉州地域（岸和田・泉大津・貝塚・泉佐野・和泉・高石・泉南・阪南・忠岡・熊取・田尻・岬）	6	その他近畿圏
3	南河内地域（富田林・河内長野・松原・羽曳野・藤井寺・大阪狭山・太子・河南・千早赤阪）	7	東京圏
4	北大阪地域（豊中・池田・吹田・高槻・茨木・箕面・摂津・島本・豊能・能勢）	8	その他

E あなたご自身のことについて

あなたご自身のことについて、あてはまるものをお選びください。

問 1	お住まいの区（ひとつだけに○）		
1	堺区	5	南区
2	中区	6	北区
3	東区	7	美原区
4	西区		

問 2	性別（ひとつだけに○）		
1	男性		
2	女性		
3	「1」「2」にあてはまらない		

問 3	年齢（数字をご記入ください）		
_____ 歳			

問 4	同居している世帯の構成（ひとつだけに○）		
1	単身世帯（ひとり暮らし）	4	三世代世帯（親と子と孫）
2	夫婦のみ	5	その他
3	二世代世帯（親と子）		

問 5 同居家族等（あてはまるものすべてに○）			
1	就学前（0～6歳）の家族がいる	5	75歳以上の家族がいる
2	小学生の家族がいる	6	1～5以外の家族がいる
3	中学生の家族がいる	7	同居していない家族（親、子、孫など3親等内の親族）が市内に住んでいる
4	65～74歳の家族がいる		

問 6 職業（ひとつだけに○）			
1	会社員・公務員（正規雇用）	6	農林漁業
2	派遣社員・契約社員・嘱託社員	7	その他就労 （「1」～「6」以外の形態で就労している）
3	アルバイト・パートタイマー（アルバイト等をしている学生を含む）	8	家事専業
4	会社等役員	9	無職（収入が年金のみの方、アルバイト等をしていない学生を含む）
5	自営業・自由業（自営業の手伝い・内職含む）		

問 7 お住まい（ひとつだけに○）			
1	持ち家（一戸建て）	4	民間賃貸住宅
2	持ち家（マンション）	5	社宅・寮
3	公的賃貸住宅	6	その他

問 8 堺市に何年住んでいますか。（数字をご記入ください）	
_____年（1年未満の方は「0」とご記入ください）	

問 9 堺市に住む前は、どちらに住んでいましたか。（ひとつだけに○）			
1	生まれてからずっと堺市に住んでいる	6	東部大阪地域（守口・枚方・八尾・寝屋川・大東・柏原・門真・東大阪・四條畷・交野）
2	大阪市	7	その他近畿圏
3	泉州地域（岸和田・泉大津・貝塚・泉佐野・和泉・高石・泉南・阪南・忠岡・熊取・田尻・岬）	8	東京圏
4	南河内地域（富田林・河内長野・松原・羽曳野・藤井寺・大阪狭山・太子・河南・千早赤阪）	9	その他
5	北大阪地域（豊中・池田・吹田・高槻・茨木・箕面・摂津・島本・豊能・能勢）		

お忙しい中、ご協力いただき、ありがとうございました。

【お願い】本調査票に回答を記載された場合は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて

令和 8 年 2 月 3 日（火） までに郵便ポストに投函をお願いします。

ひとりやないさかい 相談してな

相談機関一覧(悩み相談)

堺市ホームページで相談窓口を紹介しています

制度を利用したい

検索 堺市 相談機関一覧



専門家の意見を聞きたい

話を聞いてほしい



SNSで相談できればいいのに

さまざまな手続きをオンラインでワンストップ!

my door OSAKA
マイド・ア・おおさか

対応サービス拡大中!

大阪総合行政ポータル

my door OSAKA

マイド・ア・おおさか



自治体からの通知文書(デジタル通知)をスマートフォンで受け取るには、マイナンバーカードを利用した登録が必要です。登録時には、カードのICチップに記録されている氏名・住所・生年月日・性別および電子証明書のシリアル番号を提供しますが、マイナンバー(個人番号)は提供されません。

まずはIDの登録から!

ホームページで、あなたの情報(年齢や居住地など)を登録して、興味・関心のある項目を選べば・・・

スマホから直接オンライン申請!

自治体からの通知文書がスマホに届く!(デジタル通知)

あなたにぴったりの情報をお届け!

詳しい登録方法は
こちら



●登録方法等でお困りの際はヘルプデスクまで
(電話) 06-7176-7217 受付時間:平日9:00~17:30

●my door OSAKAを活用した堺市の取組に関すること
堺市 公民連携課 (電話) 072-228-7480

**令和7年度
堺市市民意識調査報告書**

発行：令和8年3月

堺市 市長公室 政策企画部
〒590-0078 堺市堺区南瓦町3番1号
TEL 072-228-7517 FAX 072-222-9694
HP <https://www.city.sakai.lg.jp>

堺市配架資料番号 1-C2-26-0078